DIRETOR PRESIDENTE
RAUL M. TAKAKI

JORNALISTA RESPONSÁVEL
TAKAO MIYAGUI

ニッケイ新聞
NIKKEY SHIMBUN

Rua da Glória, 332 - CEP 01510-000 - São Paulo - SP – Tel. (11) 3340-6060 – www.nikkeyshimbun.com.br

お子様の御成長を祈る
七五三祝
着物有ります
TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL
南米神宮
Rua Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP
Tel: (11) 5575-4783 – www.temploxintoista.org.br

ANO XXI – Nº 5133 | SÃO PAULO, SEXTA-FEIRA, 30 DE NOVEMBRO DE 2018 | R$ 4,00

外国人への不当負担規制

法相、入管法改正案 参院法務委で実質審議入り

【共同】外国人労働者の受け入れを拡大する入管難民法などの改正案は29日、参院法務委員会で実質審議が始まった。山下貴司法相は、受け入れ先が負担することになる日本語教育や研修などの費用について「外国人に直接、間接に不当に負担させてはならないと法務省令で規定する予定だ」と述べた。野党側は受け入れ態勢が整っていないとして、対応の遅れをただした。

自民党の長谷川岳氏、立憲民主党の小川敏夫氏、国民民主党の桜井充氏らへの答弁。

実質審議に先立つ一般質疑で、山下氏は法施行前に政省令を含め国会報告させるとの大島理森衆院議長の裁定に対し「深く受け止め、制度の全容を示したい」と述べた。

桜井氏は「今回の審議は異例尽くし。数の力で、官邸の下請け作業みたいなことをやっていたら言論の府が死んでしまう」と苦言を呈した。

改正案について、法務委の与野党筆頭理事は理事懇談会で、12月4日に質疑、翌5日に参考人質疑などを行うことで合意した。

改正案は与党側が27日、衆院法務委で採決を強行して衆院本会議で可決。28日に参院本会議で審議入りし、安倍晋三首相は来年4月の新制度開始を目指す考えを強調した。12月10日の会期末までの成立を目指す政府、与党に対し野党が批判を強めている。

現行の技能実習生を巡り、光熱費名目などで給与から多額の金を引かれ、手取りが極端に少ない事例が判明している。

日本に住む外国人への2016年調査で入居を断られた経験者が4割、差別的なことを言われた経験者が3割いたことを踏まえ、法務省の高嶋智光人権擁護局長は「啓発に力を入れ、人権擁護機関の存在を知ってもらうことが大事」と述べた。

山下氏は、上限として運用する受け入れ見込み数を分野別運用方針で示すと改めて言及。外国人が大都市圏に集中しない施策を検討するとし、医療機関や日本語教育の充実など地方での環境整備を進めると述べた。

自民党の長谷川岳氏、立憲民主党の小川敏夫氏、国民民主党の桜井充氏らへの答弁。

富裕層申告漏れ6670億円

国税庁、51・9%増

【共同】国税庁は29日、2017事務年度（17年7月～18年6月）の所得税などの調査結果を発表した。富裕層の申告漏れ所得は前事務年度比51・9%増の6670億円。現在の集計方法になった09事務年度以降で最高となった。

富裕層を含む全体の申告漏れ所得は同1・7%増の9038億円、追徴税額は同7・6%増の1196億円。調査件数約62万3千件のうち約38万4千件で申告漏れなどがあった。

東京国税局は、男性会社員に民泊で得た所得の申告漏れ約2600万円を指摘し、約700万円を追徴した。独自開発したプログラムで仮想通貨を取引した男性会社員には約5千万円の申告漏れを指摘、約2400万円を追徴した。

個人事業者の消費税では約6万2千件の申告漏れなどが判明。追徴税額は前事務年度より21億円増え322億円だった。

韓国、三菱重にも賠償命令

企業責任認定の判断定着

【ソウル共同＝岡坂健太郎】韓国最高裁は29日、太平洋戦争中に三菱重工業に動員された韓国人元徴用工5人の遺族と、元朝鮮女子勤労挺身隊員の韓国人女性ら5人が同社を相手に損害賠償を求めた2件の訴訟の上告審で、いずれも賠償支払いを命じた二審判決を支持し三菱側の上告を棄却、同社の敗訴が確定した。

韓国最高裁は10月30日に、新日鉄住金（旧新日本製鉄）に元徴用工らへの賠償を命じる確定判決を出している。これと同様の判断で、植民地支配が原因で生じた韓国人の被害に基づく賠償請求権は消滅しておらず、日本企業に支払い責任があるとする韓国司法の判断は定着した。

日本政府は1965年の日韓請求権協定で韓国人の個人請求権問題は解決済みとの立場で、判決に反発。秋葉剛男外務事務次官は29日、韓国の李洙勲駐日大使を外務省に呼び抗議した。河野太郎外相は「極めて遺憾だ。断じて受け入れられない」との談話を出し、韓国政府が直ちに措置を講じなければ国際裁判や対抗措置も含めた対応をとると主張した。

韓国最高裁は29日の2件の判決で、日本の「不法な植民地支配」を前提とした強制動員被害者の慰謝料請求権は、日韓請求権協定の適用対象外で消滅していないと判断し、10月の判決を踏襲、日本側の主張を退けた。

日本政府は被告の日本企業などに賠償に応じないよう求めている。韓国側は李洛淵首相を中心に対応を検討しているが、今後下級審でも同様の判決が相次ぐ見通しで、追加提訴の動きもある。

訴えが認められ、韓国最高裁前で喜ぶ原告の金性珠さん（前列中央）ら＝29日、ソウル（共同）

最高裁判決、日本が抗議

元徴用工らは広島市内の機械製作所などで強制労働させられ被爆したとして提訴。一、二審は敗訴したが、2012年に最高裁が審理を差し戻し、釜山高裁が13年に計4億ウォン（約4千万円）の賠償を命じ、三菱側が上告した。元挺身隊員らは名古屋市内の軍需工場などで労働。12年に提訴して一、二審とも勝訴し、光州高裁は計約5億6千万ウォンの支払いを命じた。

金融庁「お墨付き」主張

日産ゴーン前会長側近

【共同】金融商品取引法違反（有価証券報告書の虚偽記載）の疑いで逮捕された日産自動車の前会長カルロス・ゴーン容疑者（64）が、退任後に受け取ることにした役員報酬を報告書に記載しなかったことについて、側近の前代表取締役グレゴリー・ケリー容疑者（62）が「金融庁に相談し、記載する必要はないとの回答を得た」と周囲に説明していることが29日、関係者への取材で分かった。

金融商品取引法を所管する金融庁の「お墨付き」をもらったことは、虚偽記載の意図がなかった裏付けになると主張するとみられる。東京地検特捜部は、ゴーン、ケリー両容疑者とも記載義務を認識していたとみて調べている。

金融庁は「個別の開示のことはコメントを差し控える」としている。

関係者によると、ゴーン容疑者は自分の報酬を年約20億円と設定する一方、報告書への記載は年10億円程度とするようケリー容疑者に指示。残りは退任後に受け取ることにしていた。

不記載の総額は2011年3月期以降の8年間で約80億円に上り、コンサルタント契約などの名目で支払うことが検討されていたという。不記載額はさらに膨らむ可能性がある。

ケリー容疑者は特捜部の調べに「将来の支払いは確定しておらず、記載の必要はない」と供述。金融庁のほか、公認会計士や弁護士にも相談したとしている。ゴーン容疑者も虚偽記載の容疑を否認している。

40年後にGDP25%減も

IMF日本報告、人口減少

【ワシントン共同】国際通貨基金（IMF）は28日、日本経済に関する年次審査報告書を発表した。人口減少により、現状の政策では今後40年で実質国内総生産（GDP）が25%超減少すると分析した。来年10月に予定されている消費税率の引き上げには対応策を求めた。

報告書は40年後に人口が25%超減るとして、「女性や高齢者、外国人の労働参加を増やすことが、人口減少の悪影響をいくらか和らげることになる」とし、外国人労働者らの活用を促した。

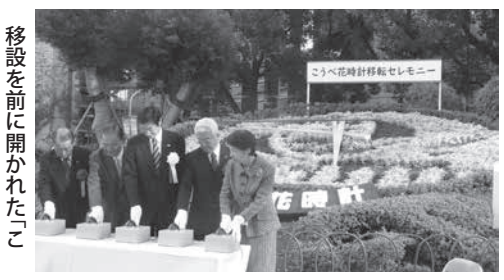
一方、緩和的な金融政策とともに構造改革を進めて生産性を引き上げれば、GDPを増やすことができるとも指摘した。

消費税率に関しては「財政面での影響緩和策がなければ、税率引き上げが消費や投資の急変動につながりかねない」と言及し、十分な対策が必要との認識を示した。中期的には徐々に財政健全化を進めることが不可欠だと強調した。

神戸の花時計 移設へ

落ち着き先未定、心配の声

【共同】国内初の花時計とされ1957年に誕生した「こうべ花時計」（神戸市中央区）の移設工事が12月上旬から始まるのを前に、針の動きを止める式典が29日、開かれた。来年3月に近くの公園に再設置されるが、落ち着き先は未定。阪神大震災からの復興の象徴となってきただけに、市民から「60年以上親しまれた姿を今後も保ってるだろうか」と心配する声が上がる。


移設を前に開かれた「こうべ花時計」の針の動きを止める式典＝29日午前、神戸市（共同）

花時計はJR三ノ宮駅から徒歩約5分の市役所脇にある。文字盤の直径は約6メートルで高さは約2・3メートル。1、2カ月ごとに約3千株を植え替えて色とりどりの風景や人物を描いてきた。95年の大震災で針が止まった際は約3カ月後に復活させ、チョウが舞うデザインで復興への希望を表現した。

神戸市によると、現在の場所に空調設備を設置するため、約500メートル南の公園「東遊園地」に移転する。だが、ここでも一帯の整備工事が予定される。公園にそのまま残す案や、別の施設に移す案がある。担当者は「花時計自体は存続させる前提で、最終的な設置場所を検討している」と話している。

しばらくのお別れを前に、近くで働く女性保育士（68）は「本当は慣れ親しんだ今の場所に残ってほしかった。移転しても華やかな姿であってほしい」と話していた。

「右派の論客」さえも お手上げのボウソナロ人事

ボウソナロ氏（Valter Campanato/Ag. Brasil）

樹海

その大統領当選でさえ、全世界に衝撃を与えたジャイール・ボウソナロ氏だが、現在進めている閣僚人事でも、マスコミや国民の予想を上回る、「毎日が衝撃」の人事を展開中だ▼現時点で軍人からの閣僚入りが6人。そのうちの3人が中核的存在の大統領府のメンバーだ。さらに、外相と教育相は、ボウソナロ氏が信奉する極右思想家オラーヴォ・デ・カルヴァーリョ氏が推奨する人物で「マルクス主義者を放逐する」と語る鼻息荒い人物だ。政治家からの登用は少なく、たまにあったかと思えば、それはかつて「政党透明度ランキング」でワースト1になったことがあるか。「汚職撲滅を中心とした政界改革」というフレッシュさを求めてボウソナロ氏に票を投じた人たちは、特に怒るでもない状況を迎えている。あえて一言で言うなら「しらけ」と言ったところか。「右派の論客」と並ぶ▼大統領就任はあと一月ほど先だが、こうした組閣の現状に対して、国民は熱狂するでも、怒るでもない状況を迎えている。あえて一言で言うなら「しらけ」と言ったところか。「汚職撲滅を中心とした政界改革」というフレッシュさを求めてボウソナロ氏に票を投じた人たちは、特に怒るわけでもなく「アヴィセイ（言っただろ）」という言葉をネット内で流行らせている▼それでも、ボウソナロ氏自身が築き上げたと言っても過言ではない「ブラジル版ネトウヨ」の支持勢力があるおかげで、まだコアな支持層は失ってはいない。ただ、それでも、ブラジル国内でかねてから「右派の論客」と呼ばれていた著名人の中にはボウソナロ氏から距離を置きはじめている人も少なくない▼たとえば視聴率2位のSBT局の女性キャスター、ラケル・シェヘラザーデだ。彼女は熱心な福音派キリスト教徒として知られ、かつて、窃盗を働いた黒人少年が人種差別的な方法でさらし者にされた際、「悪いことをしたのだから仕方がない」と発言し問題になったことさえある。彼女はこうした発言の数々から「右翼姫」の名前まで頂戴したことほどであるが、そんな彼女はかねてからボウソナロ氏には批判的な発言を繰り返している。今回の組閣に関しても彼女は「これは文民内閣なの？　それとも軍人の寄せ集め？」と発言し話題を呼んでいる▼もうひとりはレイナウド・アゼヴェド氏だ。彼は国内で最も有名な右派政治評論家のひとりで、労働者党（PT）政権の全盛時からPT批判の本を出してベストセラーにしてきたことでも知られているが、彼も今回のボウソナロ氏の組閣に関して「こんなに軍人ばかり集めて、議会との交渉はどうするの？　彼にとって政治家は敵なのか？」との皮肉を自身の番組で語っている。同氏もボウソナロ氏にはかねてから懐疑的で、とりわけ狂信的な彼の信者に関し「PTの批判本を4冊書いても殺人予告まではもらわなかった。それがボウソナロだと一度の批判で来た」と呆れている▼こうした、組閣に関して世に流れている空気は果たして「杞憂」なのか、それとも、国民の多くが政権がはじまって抱くこととなる「失望や怒りの先駆け」となるのか。それは現時点ではまだわからない。だが、ムードを変えるためには、パウロ・ゲデス次期経済相をはじめとしたシカゴ学派の経済スタッフがよほど好結果を出すか、もしくはセルジオ・モロ次期法相主導の汚職摘発が目覚しい結果を記録するか。少なくとも、それらが起きる必要があるだろう。（陽）

ボウソナロ

新閣僚3人を新たに発表

テメル政権前大臣のテラ氏ら
省庁削減は結局22まで

ジャイール・ボウソナロ次期大統領は28日、新たに3人の閣僚の指名を行った。今回は、テメル大統領の民主運動（MDB）の下議の名前が初めて挙がった。なお、ボウソナロ氏が削減を約束した省庁数は、結局22になりそうだと29日付伯字紙が報じている。

テラ氏
（Marcelo Camargo/Agência Brasil）

マグノ選外で福音派不満

28日に指名されたのは、統廃合で新設される市民相にオズマール・テラ下議（MDB）、国家統合省と都市省を統合する地域開発相にグスターヴォ・エンリケ・カヌート氏、観光相にマルセロ・アルヴァロ・アントニオ氏の3人だ。

テラ氏は80年代来のMDB党員で、テメル政権では16年5月から今年4月まで、農業社会開発相をつとめていた。

MDBが「ボウソナロ政権で連立を組むのでは」という憶測も出ているが、それはまだ決まっておらず、テラ氏自身も政党人事を否定している。同氏は「おそらく、私が下院で展開している子供や高齢者の難病に対する援助活動が認められた結果ではないか」と語っている。

テラ氏は、スポーツ省と文化省と社会発展省の3省を統合した市民省を統括する。

カヌート氏は現在、国家統合省副大臣に相当する官僚で、4月まではMDBの大物政治家ジャーデル・バルバーリョ氏の息子でパラー州次期知事となったエルデール・バルバーリョ氏の下で、また、現在はアントニオ・デ・デウス・アントラーデ氏の下で、同省の業務を統括している。

同氏は、都市省と国家統合省と合併した地域開発省を管轄する。

もうひとりのアルヴァロ氏は、ボウソナロ氏と同じPSL所属で、ミナス・ジェライス州選出下議だ。同氏は、政党や州からの推薦ではなく、下院での活動の結果、選ばれたのではないかと見ている。観光相には当初、ボウソナロ氏と旧知の企業家、ジウソン・マシャド氏が予想されていた。

これで、中銀総裁も含めたボウソナロ次期政権の閣僚予定者は19人となったが、ボウソナロ氏が目標にしていた「現状で29ある省庁を15まで減らす」との公約は果たせず、22に収まることになりそうだ。

なお、今回の組閣で、議会の福音派がボウソナロ氏への不満を示している。それは、同派が推したマグノ・マウタ上議（共和党・PR）やマルコ・フェリシアーノ下議（キリスト教社会党・PSC）が入らなかったためだ。

特にマウタ氏は、ボウソナロ氏の副候補にも決まりかけ、大統領選中もボウソナロ陣営の中核のひとりでもあったため、入閣が確実視されていたが、児童虐待の嫌疑がかけられたのが影響した。

リオ州知事ペゾンを逮捕
直近知事5人中で4人目

リオ州のフェルナンド・ペゾン知事（民主運動・MDB）が29日早朝にリオ市南部の州知事公邸で無期限拘留され、直近5人の同州知事中、4人目の逮捕者となったと、同日付伯字サイトが報じている。

ペゾン氏の直前のリオ州知事は、セルジオ・カブラウ氏、ロジーナ・ガロチーニョ氏、ベネジタ・ダ・シウヴァ氏、アンソニー・ガロチーニョ氏の4人。この中で逮捕されていないのは、ベネジタ・ダ・シウヴァ氏だけだ。ただし、在任中に逮捕されたのはペゾン氏だけ。

連邦警察はこの日、同州のラヴァ・ジャット作戦から派生したボッカ・デ・ロボ（直訳すると「狼の口」、排水溝の蓋をさす）作戦を決行し、9件の逮捕令状と、31件の家宅捜索令状を執行した。

同知事以外にも6人が逮捕された。その中にはイラン・ペイショット・ジュニオル州建設局長、アフォンソ・ダ・クルス州政府室長、知事の甥のマルセロ・アモリン氏が含まれる。罪状は贈賄、収賄、犯罪組織形成、資金洗浄だ。

29日の作戦は、セルジオ・カブラウ前リオ州知事の〝金庫番〟だった、カルロス・ミランダ氏が行った報奨付供述に基づいている。カブラウ氏は、複数の汚職容疑で裁判中だ。同氏の量刑は合計で禁固170年を超えている。ペゾン知事はカブラウ知事時代に副知事を務めていた。

連邦検察庁特捜局（PGR）は、ペゾン知事は自身の会計担当と共謀して汚職を行ったとしている。同知事が2007年までの間に、月々の賄賂や事業契約額の8％などで、計3900万レアル超の支払いを受けた事を示す証拠書類があるという。

PGR統括下の連邦検察庁（MPF）は、汚職スキームは過去のものではなく、今も機能し続けているとしている。

ラケル・ドッジPGR長官はペゾン知事逮捕の数時間後に会見を行い、「（ペゾン知事による）極めて重大な犯罪行為があった。犯罪行為は現在も続いているため、同知事の逮捕は避けられなかった」と語った。

リオ州政府広報は、知事の逮捕に関するコメントは発表しないとした。また、次期知事との引継ぎ作業などを含む知事の職務は、自動的にフランシスコ・ドルネレス副知事に引き継がれる。

すでに州議会議長ジョルジ・ピシアーニ氏も逮捕済で、州三権中2人がつかまる異常事態となっている。

逮捕されたペゾン知事
（Tomaz Silva / Agencia Brasil）

州三権中2人逮捕の異常

ボウソナロ

環境会議招致取り消させる
国際社会は今後への懸念表明

1992年と2012年の2度、地球サミット（国連環境開発会議）とリオ+20という環境会議を開催し、来年開催のCOP25（第25回気候変動枠組条約締約国会議）招致にも積極的に取り組んできた伯国が、27日に招致断念を国連に通達。国際社会からも懸念の声が出ていると29日付伯字紙が報じた。

COP25は米州大陸で開催する事になっており、テメル政権は17年から招致に関心を示していた。また、今年10月の立候補時までにラ米・カリブ諸国の賛同も得ており、ポーランドのカトヴィツエで12月3日～14日に開催されるCOP24で、次回開催国は伯国と発表されるばかりになっていた。それだけに、会議直前のキャンセルは国連にとっても大きな驚きで、他の候補地を探す必要も生じた。

伯国外務省は、予算不足と、19年1月1日に行われる政権交代の手続きなどを考慮した判断と説明したが、立候補時には予算不足への言及はなく、国際社会は、環境問題に対する次期政権の姿勢の表れとの見方を示している。

これを裏付けるかのように、ジャイール・ボウソナロ次期大統領は28日、次期外相に招致断念を伝えるよう指示した事を明らかにした。

ボウソナロ氏は選挙中から、15年にパリ協定からの脱退や、国連から地の開発規制は伯国の主権侵害に当たる」とも主張した。

また、COP25開催費は4億レアルと予想され、予算案に計上された1500万レアルの他に資金を募る必要がある事についても、「誇張し過ぎ」と一蹴している。

一連の発言を受け、国内外からは、伯国の環境政策の変化と、森林開発や農地拡大が無秩序に進む可能性を示唆すると懸念する声も出ている。

PT政権元閣僚

パロッシに対して減刑判決
大統領選直前の暴露で話題に

南大河州の連邦第4地域裁（TRF4）は28日、ルーラ、ジウマ政権の重要閣僚で、収賄罪などで服役中のアントニオ・パロッシ氏（元労働者党・PT）に対し、報奨付証言の有効性を認め、禁固刑を自宅軟禁に切り替える判断を下した。29日付伯字紙が報じている。

この裁判は10月に行われていたが、判事の一人が見直しを求めたために中断していた。同裁判の報告官のジェブラン・ネット判事は「有効性を認める」としており、判事投票2対1でパロッシ氏の減刑が決まった。

パロッシ氏は、「ルーラはオデブレヒト社と血の契りを交わした」などとして、ジウマ、ルーラ政権の汚職の内幕を暴露していた。この証言の一部は今年の大統領選一次投票の6日前に暴露され、PT候補のフェルナンド・ハダジ氏に大きな打撃を与えた。

パロッシ氏の報奨付証言は昨年も連邦検察庁に対して行われたが、この時は証拠不十分で成立しなかった。

だが、今年の6月に連邦警察を相手に行った証言で司法取引が成立。この時、司法取引を承認したのがジェブラン・ネット判事だった。

同判事はTRF4で行うラヴァ・ジャット裁判の報告官で、今年1月に聖州グアルジャーの高級三層住宅絡みの収賄や資金洗浄で、ルーラ元大統領に12年1カ月の実刑判決が下された際も、報告官を務めていた。

住宅販売事情

選挙後の大幅アップが期待
契約解除規制案の成立も鍵に

統一選挙が終わり、今後への不透明感が薄れたため、住宅用不動産市場は来年から新たなサイクルに入るだろうとの観測が出ていると、29日付エスタード紙が報じた。

聖市では、今年10月末までの時点で、新たに市場に投入された住宅用不動産の件数が昨年の総数を超えた。今年の総数は、昨年比5～10％増になると見られている。

住宅開発会社、ノルチス社役員のカルロス・テレオピンス氏は、「住宅不況の流れが止まり、来年からは住宅市場がまた活気付きそうな兆候が出ている」と語っている。

今年10月までに、聖市では1万8011件の新規住宅が市場に出された。選挙イヤーは通常、販売が落ち込む傾向にあるが、今年の新規住宅数は昨年同期比で21％増えている。

また、実際に販売された件数も増加した。聖市商用・住宅不動産・賃貸・管理業者組合（SecoviーSP）によると、今年9月までの販売件数は1万8067件で、昨年比40％以上の増加だった。

また、不動産業界は、先週21日に連邦上院議会を通過した、「不動産契約解除規制案」（ジストラット）の下院早期通過を望んでいる。同案が成立すれば、住宅不動産を供給する業者側はより安心して、不動産を販売にかけられるからだ。

フラヴィオ・アマリSecoviーSP会長は、「来年は消費者の景気信頼感も高まり、住宅価格の上昇がインフレ率を上回るようになるだろう」と予測している。

東西南北

キューバ人医師の大量帰国の後、緊急の募集の末に伯人医師を派遣しはじめた医療プログラム「マイス・メージコス」だが、ことはそこまで思うようにはいっていない。29日付アゴラ紙によると、バイア州では内陸部中心に、キューバ人医師が帰国してしまったために後任の医者がおらず、診療所が機能しないケースが目立っているという。それらの医師が抱えていた患者には、脳血管障害（AVC）を煩った女性や、サランポ（麻疹）に罹患した子供など、診療を特に必要としている人も少なくないという。後任募集枠は9割以上が埋まったとも報じられている同プログラムだが、正常化への道は容易ではない。

◎

22日、大聖市圏オザスコで、ウーベルの運転手（40）が22歳の女性の顧客を殴り、負傷させる事件があった。その女性は職場に向かう途中で同僚をひとり乗せ、同僚と料金を割勘にするつもりだったが、経路変更で料金が変わるからと運転手が難色を示し、同僚の所に行くのを断ったため、キャンセルしたら口論になり、暴行に至ったという。運転手は、最初に計算された料金を利用者が了承した時点で、現地に向かうため、経路変更は確かに面倒だが、暴力沙汰は問題外だ。

◎

28日のサッカーの欧州チャンピオンズ・リーグで、PSGのネイマールがリバプール戦の前半37分に得点を決めた。これで同リーグでのネイマールの得点は31となり、これまでの最高だったカカーの30点を抜いて、伯人選手の最多得点者となった。ネイマールはまだ26歳。更新はまだ続きそうだ。

外国為替市況

中銀サイトより
11月30日午後4時現在

米ドル相場
売　3.8575 R$
買　3.8569 R$

円相場
売　0.0340 R$
買　0.0340 R$

ENKYO
援協月報
630号
サンパウロ日伯援護協会
一〇十八・十一・三十
BENEFICÊNCIA NIPO-BRASILEIRA DE SÃO PAULO
R. FAGUNDES, 121 CEP 01508-030
SÃO PAULO -TEL.: (11) 3274-6555

◎援協会員募集中
会員の皆様の年会費（100レアイス）は援協の医療福祉事業を支える大切な財源の一つです。援護協会の一員として、日系社会とブラジル社会へ貢献しませんか。詳しくは左記へお気軽にお問合せください。
お問い合わせ：(11)3274-6494/6523
Eメール：associados@enkyo.org.br

◎御寄付お礼（10月分・敬称略・単位R$）
■本部：サンパウロ新聞社（1200）、ニッケイ新聞社（1000）、カロン文化体育協会（12000）、内村俊一（500）、小山マルコス（100）、結城エジソン（40）、狩野テレザ（100）、田中ノブカ（2100）、大分県知事（1200）、リベルダーデ文化福祉協会（3000）、ブラジル被爆者協会（660）、山形県人会（702）、イタケラ日系クラブ（200）、匿名2件（3000）■本部福祉部：滝沢マリア（182）、上原ルイス、テレザ（200）、前田エリオ（70）■サントス厚生ホーム：安次富ジョルジ（200）、シモン・ユキノリ（50）、サントス沖縄協会（150）、玉城ユキモリ（100）、アゲミ・ジュリオ（50）、ホゼメイレ・チエレンス（50）、伊良波チエミ（50）、土井セルジオ（200）、前園サチコ（100）、桑原クニオ（100）、コムラト・レイコ（50）、新里コウゾウ（50）、上原チナ（100）、青木実（50）、コシケネ・ミツ（50）、サントス沖縄婦人会（150）、吉田ヒデカズ（100）、橋本カズエイ（50）、東本願寺（1000）、援協屋台チーム（1000）■さくらホーム：エレクトロ電力会社（1552，61）、東本願寺（1000）、内村俊一（500）、匿名（60）■あけぼのホーム：内村俊一（500）、安武誠（515）、高橋ヨシユキ（500）、コチア青年連絡協議会（500）■やすらぎホーム：コチア青年連絡協議会（500）■イペランジアホーム：佐久川マサヨシ（370）、匿名（80）■自閉症児療育施設：ブラジル三井物産財団（7900）、内村俊一（500）、菩薩グループ（300）、匿名2件（25070）■サンミゲル・アルカンジョ病院：匿名2件（90）■日伯友好病院：ペギ・マイス軽食店（6300）、エスミ駐車場（3926，63）、Implamed（15000）、パブリビデオ（1087，95）、Bradesco（10000）、Bone Surgical（6395）、Laboratório Ferring（930）、Emp. Arthex（1000）、Biolab Sanus（930）、吉田マリナ（400）、カチア・ピカゾ（200）、ウゴ・ゲデス（200）

◎物品ご寄贈お礼（10月分・敬称略）
■本部：安武誠（蘭）■本部福祉部：園田昭憲（本）、北岡マルシア（古着）、松原アツコ（古着）、プリマヴェラ・グループ（食料品）、山崎マサミ（介護用品）、佐野フサコ（靴下、石鹸入物）、佐々木憲輔（本）、国井ケサジロウ（本）、池田モリエ（DVD）、森田ケイコ（食料品）、松村レイコ（食料品）、具志堅茂信（本）、原沢金子（本）、山口エウザ（LEDランプ）、池田マリエ（DVD）■サントス厚生ホーム：ダイアネ・ディアス（介護用品）、ヘナタ・アモリン（古着）、サッコロン羽山（果物、野菜）、有坂隆良（果物、野菜、豆腐）、玉城ミサエ（果物、野菜）、ファブリシオ・モリネ（果物）、Loja Whopi（古着）、シウヴィア・マウリ（古着）、諸味里マリオ（古着）、ニセイ・ヴィセンチーノ（電気鍋）、島袋イナ（古着）、永井マリコ（古着）、秦セウソ（古着）、アウシデス・フィリョス（古着）、山城パウロ（古着）■さくらホーム：井上時晴（牛乳）、クリスチーナ・ピニヨ（食料品）、辻雄三（果物）、川上アントニオ（野菜）、高木カヨコ（古着）、Sesc－メーザ・ブラジル（果物、野菜）、高井ヴァレリア（古着）、辻リンコ（古着）、大滝スミコ（古着）、中田カズコ（ネクタイ、スカーフ）、鈴木カズミ（古着）、クレウザ・プガ（古着）、天川ホザ（古着）、エジナ・カマルゴ（クリーム）■やすらぎホーム秋山幸雄（果物、食料品、野菜）、宮平ミツコ（果物、食料品）、菩薩グループ（果物）■イペランジアホーム：井野養鶏場（卵）、高木商会（漬物、豆腐、かまぼこ）、渡辺勇（野菜）、ノブサ・ジェラウド（ケーキ）、西村セイジ（魚）、益田テルオ（果物）■あけぼのホーム：井沢サチコ（日本米）、渡辺ヒロコ（日本米）、内村俊一（日本米）、平塚マルセウ（医薬品）、Takoish（食料品）、内田エリカ（ラック）、八島アキコ（布団、古着）、藤原ネウザ（日本米）、マリナ・バチスタ（車椅子）、駒村タダシ（日本米）、奥山ヘナト（日本米）、野沢カズオ（日本米）、中村タツミ（日本米）、フェルナンド・ハモス（古着）、榊ジョルジ（日本米）、野沢ケンジ（日本米）、藤田ルイス（日本米）、安武誠（花）、菊地ジョルジ（日本米）、キ・スン・ジャン（理学療法士電動器具）、中野ヤスフミ（日本米）、ツナキ・ホベルト（古着）、川村マウロ（布団）、志田ルイス（古着）、山下藤ルシア（雑貨品、食料品）、三宅ヘジナ（雑貨品、食料品）、上田パウロ（果物）、宮代テレザ（チーズクリーム）、近藤エリオ（日本米）、池本エドウアルド（古着）■日伯友好病院：Johnson（医療用品）、Eurofarma（医療用品）、Drogaria Servfarma（医療用品）、Biliomed（医療用品）、Hospital das Clínicas（医療用品）、AMA－Vila Guilherme（医療用品）、ブラジルヤクルト商工株式会社（ヤクルト）

◎新入会員11名ご紹介（10月分・敬称略）
■本部扱い：イトウ・トシスケ、マリア・アニタ・ダ・シウヴァ、石垣カモ・トキ、荒木裕幸、久高ハルミ・スザナ、大和田典子、村田俊典、平塚佐久穂ツルミ■会員扱い：ヒロセ・ミキ・セウソ、安次富アキヨシ・パウロ、原田ユキオ・セルジオ

◎特別養護老人ホーム・あけぼのホーム（グアルーリョス）でコテージ（Chalé）の入居者を募集中（ご夫妻で入居可能）
コテージでは自力で身の回りの事ができ、生活できる方を募集しております。コテージに住み、食事洗濯はホームが提供致します。
お問い合わせ：(11)2480-0553
住所：Rua Agostinho José Ruivo, 222 – Sítio São Francisco – Guarulhos

◎イペランジアホーム（スザノ市）の入居者募集中
新築された衛生的な厨房、ガラス張りの明るく、広い食堂、10の居室（二人部屋）。快適な住環境でゆったりとした老後を過ごしてみませんか。
お問い合わせ：(11)4742-6105
住所：Estrada do Tani, 751 – Vila Ipelândia – Suzano – SP

サッカー

新生伯国代表の通信簿

リシャルリソン、アランが台頭

１１月２０日に英国ミルトンキーンで行われたカメルーン戦で１対０での勝利し、サッカーの伯国代表セレソンが今年の全日程を終えた。

年内最後の代表戦で得点し、評価をあげたリシャルリソン（Lucas Figueiredo / CBF）

今年の成績は１５戦１３勝１分１敗と、トータルで見れば素晴らしい。だが、たった一つ、ロシアW杯準々決勝でベルギーに喫した敗戦が、１３個の白星を帳消しにするほどの痛みとして、国民の心に刺さっている。

２０１６年９月からセレソンの指揮をとる監督のチッチは、W杯での８強敗退後も留任した。これは「優勝」の結果だけに強く拘る伯国としては異例だが、「チッチは、２０１８年ロシア大会までの４年間を全て任されたわけではなかった。就任して実質２年もない中での仕事ぶりは決して、『８強止まりだったから解任』と判断されるような内容ではない」との理由があげられる。

こうして、チッチ指揮の下、来年伯国で開催される南米選手権（コパ・アメリカ）に向けて伯国代表は再スタートを切った。チッチは更なるチーム強化のため、９月、１０月、１１月に２試合ずつ組まれた親善試合を通じて、ロシアW杯出場組に新戦力の融合を試みた。

６戦全勝となったW杯後の結果をどう見るかと問われたチッチは、「伯国内、国外を問わず、若い選手にプレーする機会を与えられた事が最も重要」と答えた。

常に選手に厳しい批判の目を向けるメディアが最も賞賛するのが、リシャルリソン（エヴァアートン・２１）だ。彼は１７／１８シーズンから英国プレミアリーグでプレーしているが、ロシアW杯後初の代表発表の際にはリストに入っていなかった。

しかし、負傷した選手の代わりに招集され、代表出場２戦目となった９月１２日のエルサルバドル戦で２得点を挙げた後は、１０月、１１月と継続して招集されており、ここまでの成績は、６試合で３得点だ。先発出場が１試合しかない中でのこの結果は十分合格と言って良い。

その他にも、ロシアW杯後の代表入りながら十分に存在感を示しているアルトゥール（FCバルセロナ・２２）は、既に「代表に定着できるか否か」の議論を通り越し、「中盤のどこのポジションが最も機能するか」に興味は移っている。

セレソンの次の試合は年明け３月に行われる予定で、その後は６月のコパ・アメリカへと突入していく。

（２１日付グローボ・エスポルテより、２２日掲載）

人気コメディアン賠償金支払い

リオ市長選次点の政治家に暴言

ＳＢＴ局の深夜の人気帯番組「ザ・ノイテ」の看板司会者であると同時に、数々の暴言でのお騒がせでも知られるコメディアンのダニーロ・ジェンチーリが、政治家への暴言によって、賠償金の支払を命じられた。

ジェンチーリが賠償金を支払う相手は、急進左派・社会主義自由党（ＰＳＯＬ）のマルセロ・フレイショ氏だ。２０１６年のリオ市長選で落選はしたものの、小政党からの出馬ながら決選投票まで進み、全国的に有名になった。

一方、ジェンチーリと言えば、伯国芸能界ではきわめて珍しい、かなりの右派。その彼がツイッターで、フレイショ氏のことを「泥棒で男性優位主義者、女性たちに暴力をふるい、ブラックブロックスのリーダーで殺人者」と罵った。フレイショ氏は、名誉毀損だとして訴えを起こしたが、ジェンチーリは「報道された事実に基づいて言ったまで」と反論していた。

だが、リオ地裁のラファエラ・アヴィラ・フェリペ判事は、「コメディ調の投稿とは言えない、攻撃的で挑発的な物言いで、表現の自由の範疇を遥かに超えている」と判断。同判事はジェンチーリに、フレイショ氏に対して１万レアルを支払うよう命じた。これはフレイショ氏が求めていた１０万レアルの１０％に過ぎなかった。

ジェンチーリが暴言で罰金を課されるのはこれが初めてではない。以前には、労働者党の女性下院議員マリア・ド・ロザリオ氏を侮蔑する発言を動画で行い、５万レアルの支払を求められている。（２７日付ＵＯＬサイトより、２８日掲載）

ＴＶ番組「ザ・ノイテ」でのジェンチーリ（右）（Lourival Ribeiro / SBT）

当地メディアの広範なニュース

ブラジルピックス

ホットな話題をここで

CSA

３年連続昇格で４部から１部に

来期は１部の強豪と対決

２年前に４部決勝を争ったＣＳＡ（右・Lucas Figueiredo / CBF）

サッカーの伯国全国選手権２部の最終第３８節が２４日に行われ、敵地でのジュヴェントゥージ戦に勝利した、ＣＳＡ（セントロ・スポルチーヴォ・アラゴアーノ）が２位となり、来年の全国１部昇格を決めた。

今年の２部リーグは１位のフォタレーザが独走で優勝を決めたが、４位までの１部昇格争いは熾烈を極めた。

ＣＳＡは最終節直前までは昇格圏外の５位だったが、最終節は３位と４位のチーム同士の直接対決が組まれていたため、５位のＣＳＡはジュヴェントゥージに勝ちさえすれば、昇格を決められる状況だった。

ＣＳＡは、３部降格が決まっていたジュヴェントゥージ相手にモチベーションの差を見せ付けて４対０と快勝。実に１９８７年以来、３１年ぶりの全国１部復帰となった。

今回特筆すべきは、ＣＳＡは２年前の２０１６年にも全国４部で２位になり、全国３部に昇格。昨年２０１７年は全国３部で優勝し、全国２部に昇格しており、今年の昇格もあわせると、３年連続の昇格となった点だ。３年連続昇格は伯国初の快挙だ。

実は今年の２部で優勝したフォルタレーザも、昨年３部から２部に昇格してきたばかりで、３部から１部まで２年で駆け上がっている。これも充分に快挙と呼ぶに値するが、３年連続の昇格の凄まじさには及ばない。

また、２０１６年の全国４部は、その年の上半期に各州の大会で好成績を収めたチームに出場権が与えられる仕組みだったため、２０１６年初めには全国レベルの大会へ出場する資格がなかったチームが、２０１８年の終わりには、翌年の全国１部行きの切符を手にした」というシンデレラストーリーだ。

最近では短期間で全国４部から１部に駆け上がるケースが頻発している。２０１３年のシャペコエンセ、１４年のジョインヴレ、１５年のサンタ・クルスだ。しかし、これら３チームは４部から１部に上がるまでに５シーズンかかっており、３年連続昇格の偉業には及ばない。

また、２０１７年に４部優勝、今年は３部で優勝したパラナ州のオペラリオが、来年の２部リーグで、３年連続昇格にチャレンジする。

（２４日付グローボエスポルテなどより、２７日掲載）

リオ市

大雨で大通りにワニ出現

轢かれそうになるも無事保護

２５日から２６日にかけて大雨に見舞われ、２時間で１カ月分を超える雨が降ったところも出たリオ市で、２５日夜、大通りにワニが出現し、ほとんど轢かれそうになるという事件が起きた。

ワニが現れたのは、リオ市西部のバーラ・ダ・チジュッカのアイルトン・セナ大通りだ。リオ市では２５日夜１１時から大雨注意報が出ていたが、ジャカレパグア空港に程近い同大通りを通りかかった車の運転手が、道の真ん中の水溜りにワニがおり、車が近くを通るたびに轢かれそうになっている事に気づいて、近くに車を停めたところ、車の下に逃げ込んだため、２６日午前１時半頃に消防に通報。２時頃に、ワニが捕獲されたという。捕獲されたワニは、同市の市立マラペンディ自然公園まで運ばれた後に、放たれた。

この雨では、リオ市やニテロイ市などで、道路の冠水や洪水が起こり、交通が遮断されたりした他、大量の雨で地盤が緩んだ事に伴う倒木や土砂崩れなども報告された。

雨量が多かったジャカレパグア地区では家の塀が崩れる被害も出たが、消防によると、死傷者は出なかったという。

リオ市などの雨は、大西洋から吹き込む、湿った大気がもたらしたもので、アングラ・ドス・レイスでは２６日朝までの２４時間で１１月の平均降水量の２倍の雨が降るなど、かなり広範囲で強い雨が観測され、まとまった量の雨が降った。（２６日付Ｇ１サイト、Ｒ７サイトなどより、２７日掲載）

アイルトン・セナ大通りにワニ（G1サイトの記事の一部）

RIO DE JANEIRO

O jacaré estava em um bolsão d'água no meio da pista. O animal estava quase sendo atropelado. Os veículos passavam muito perto dele.

O motorista parou o carro perto do bolsão d'água, e o jacaré acabou se abrigando debaixo do carro dele. Os bombeiros foram chamados e, por volta das 2h desta segunda-feira (26), conseguiram resgatar o jacaré.

Jacaré em bolsão de água na avenida Ayrton Senna, na Barra da Tijuca — Foto: Reprodução/ TV Globo

反小児ポルノ

伯亜の警察が摘発作戦実行

６９件の捜査令状が執行

伯国治安省による小児ポルノ摘発作戦である、ルス・ナ・インファンシア（「幼少期に光を」の意）作戦第３弾が２２日に決行され、伯国全土１８州と連邦直轄区の市警が合計６９の家宅捜索、押収令状を執行した。

治安省は「今回の作戦は、子供や青少年を標的として目論まれる、インターネット空間での犯罪摘発活動を、より強力に継続するためのもの」との声明を発表した。

今回の作戦には、隣国アルゼンチン（亜国）の捜査当局も参加した。亜国当局も亜国内で、４１件の家宅捜索を実行した。

「両国の捜査機関の協力により、国境を越えて活動する犯罪者たちの存在を突き止める事が出来た。伯亜両国で同時に行われた作戦では、およそ１千人の警官が動員された」と伯国治安省の声明は続けた。

ルス・ナ・インファンシア作戦は２０１７年１０月に第１弾が実行された。そこでは１５７件の捜査令状が執行され、１１２人が逮捕された。

第２弾は今年５月に実行された。第２弾では５７９件の捜査令状が執行され、２５１人が逮捕された。（２２日付アジェンシア・ブラジルより、２３日掲載）

CNI

消費者信頼感指数を発表

４年１０カ月ぶりの好結果出る

全国工業連合（ＣＮＩ）は２３日、今月の消費者信頼感指数（ＩＮＥＣ）が１１３・６ポイントだった事を発表した。

今年７月から５カ月連続での前月比上昇で、１０月比での２・７％アップは、２０１４年１月以来の高い数値となった。また、同数値測定開始以来の平均値１０７・８ポイントも上回った。

また今月のＩＮＥＣは、昨年１１月の値よりも１２・５％高い。ＣＮＩは、消費者の間に景気回復への信頼感が戻る事は、経済成長のために欠かせないとしている。

消費者の景気への信頼感が高まると、購買意欲も高まり、需要が拡大。それに伴って、生産量、ひいては雇用や設備投資も拡大、増進していくからだ。

ＣＮＩは、ＩＮＥＣが高まった理由として、国民の間にインフレ抑制と雇用回復の期待が高まった事が大きいとしている。

ＣＮＩが調査した「インフレ抑制への期待」と「雇用改善への期待」は、それぞれ、１０月比で、８・６％と６・５％向上した。

前年同月比で見たインフレ抑制、雇用改善への期待値は、それぞれ、２５％、１９・１％も上昇している。

また、「収入増加の期待」は前月比で３・３％アップ、前年同月比では１７・９％アップで、「負債減少の期待」も前月比で１・１％アップ、前年同月比では１５・８％アップだった。

前月比では横ばいだった「経済状況への期待」も、前年同月比では１６・６％アップだった。

ＣＮＩによる消費者信頼感指数調査の項目の中で唯一、前月比減となったのは、「高額商品の購買意欲」で、１０月比マイナス０・５％だった。同項目は前年同月比でもマイナス３・８％だった。（２３日付アジェンシア・ブラジルより、２４日掲載）

消費者の〝信頼感〟は、現実となり、消費、生産、雇用、投資へと循環していくだろうか？（Tania Rego / Agencia Brasil）

今年も伯国勢は蚊帳の外

ウルグアイの大物が主要部門圧勝

ラテン・グラミー

中南米ならびにスペイン語圏最大の音楽賞、ラテン・グラミー賞の授賞式が１５日にアメリカのラス・ヴェガスで行われたが、伯国勢は今年も主要部門では蚊帳の外で終わった。

ラテン・グラミーでは毎年、メキシコ、プエルトリコ、コロンビア、そして中南米音楽の母国語の国としてスペイン語圏の国々が強く、ポルトガル語国の伯国には不利な展開が続いているが、今年もそれに変わりはなかった。

大賞となる最優秀レコード賞は、ウルグアイの大物ホルヘ・ドレクスレルの「テレフォニー」が受賞した。

最優秀アルバムはメキシコの国民的歌手ルイス・ミゲルの「メヒコ・ポル・シエンプレ」。最優秀楽曲賞はレコード賞に引き続き「テレフォニー」が受賞。最優秀新人賞はコロンビアの女性レゲトン歌手のカロルＧが受賞した。

伯国勢は今年も「ポルトガル語部門」のみの受賞となった。同部門のロック・アルバム賞がレニーニの「エン・トランジト」、ＭＰＢアルバムがシコ・ブアルキの「カラヴァナス」、最優秀サンバ賞でマリア・リタなどが受賞した。

伯人アーティストの中で最大の国際的人気を誇る女性歌手アニッタは、総合の部で最優秀アーバン（都会的、つまり若者向けポップスの意味）歌手、アーバン楽曲の二つでノミネートされたが、受賞なしで終わった。（１５日付ＵＯＬサイトより、１７日掲載）

サンパウロ周辺イベント情報

【サッカー】

【全国選手権】

最終節

12/2（日）

・スポルチ対サントス（イーリャ・ド・レチロ）

・パルメイラス対ヴィットーリア（アリアンツ・パルケ）

・シャペコエンセ対サンパウロ（コンダー・アリーナ）

・グレミオ対コリンチャンス（グレミオ・スタジアム）

【11/29　公開の映画】

・妻たちの落とし前（米）

強盗団を組んでいた夫たちを失った4人の未亡人が、夫たちの代わりに強盗の物語。オスカー候補との前評判も。

・インスタント・ファミリー（米）

新婚夫婦がふとしたことから3人の養子の親になる姿を描いたファミリー・コメディ。主演マーク・ウォールバーグ。

【コンサート】

11/30～12/2(金～日)

・シタンジーニョ＆ショロロー（クレジカード・ホール Av. das Nacoes Unidas, 17955 - Vila Almeida)

セルタネージョ界の大御所の3日連続公演。

外国人雇用の門戸狭まる

シンガポール、国民を優先
11年ごろから政策転換

【シンガポール共同】シンガポール政府が国民の雇用確保のため、外国人の就労条件の厳格化を進めている。外国人を積極的に受け入れ経済成長を遂げてきたが、国民から「職が奪われている」との不満が噴出し、2011年ごろから政策転換した。企業が条件に対応できず、就労を諦めてシンガポールを去る人も。労働者の3人に1人が外国人という国際都市の門戸が狭まっている。

11年5月の総選挙で与党・人民行動党は勝利したが、野党が過去最多の議席を獲得。所得格差や移民政策への反発が背景とされ、政府は同年8月「外国人労働者への依存度が高まらないようにする」と就労ビザ（EP）発行要件の見直しを発表、国民優先を打ち出した。

専門職や管理職が対象のEP発行のための最低月給や学歴など要件を引き上げ、年齢や経歴が高い人を雇用する企業にはさらに高い給与支払いを要請。

14年以降は国民に平等な雇用機会が与えられたことを示すため、一定規模以上の企業はシンガポール人向けの求人サイトに募集広告を14日間以上出さなければ外国人を採用できなくなった。発行要件は段階的に厳しくなり、17年には月給3600シンガポールドル（約30万円）以上と、6年間で千シンガポールドル以上も引き上げられた。ある人材派遣会社の経営者は「仕方なく10％の昇給に踏み切った」。シンガポール人の雇用に切り替える企業もある。

日系美容室の新規開店に合わせて昨年、日本人従業員のEPを申請した男性は「なぜこの人を採用しなければならないのか当局に説明を求められ、申請をやり直し、発行までに何カ月もかかった」と振り返る。

企業ごとの外国人労働者の割合に対するチェックも厳しくなった。政府は16年から「不当に外国人を優遇した」と判断した企業を監視リストに載せて指導。

地元紙によるとこれまでに計約500社が掲載され、雇用方針を変えなければEPの新規発行や更新を認めないなどの対策が取られた。

日本の大手建設会社の30代男性は昨年11月、EPの更新を却下され帰国を余儀なくされた。政府から理由の説明はなかったが「日本人従業員が多すぎて目を付けられたのだろう」と話す。

EP所持者数の伸び率は縮小、17年は前年比4600人減の18万7700人と減少に転じた。ただシンガポールは少子高齢化問題を抱え、人口減少による経済競争力低下への懸念もある。シンガポール社会科学大のウォルター・テセイラ准教授（経済学）は「労働力確保のため規制は徐々に緩和されるのではないか」と分析する。

GDP1・3％と対米説明
防衛費、NATO基準で

【共同】政府は、防衛に絡む予算に関して米国による負担増要求を受け、北大西洋条約機構（NATO）の算定基準で見ると対国内総生産（GDP）比で1・3％に相当すると説明する意向だ。

年末の「防衛計画の大綱」策定に伴い、装備購入に充てる予算を増額させ、米から高額装備を新規購入することも検討している。アルゼンチンで30日に行う日米首脳会談で取り上げられる可能性もある。

対米説明では、防衛省以外の省庁が所管する関連予算を合算した「防衛関連経費」を用いる。国内向けは従来通り防衛省所管の予算に限る「防衛費」を示す。国内外で数字が異なる二重基準となる。

こうした取り組みは来年1月にも始まる日米貿易交渉が背景。日本への理解を求め、トランプ政権の圧力をかわそうとの思惑がありそうだ。

2018年度予算で5兆1911億円の防衛費はGDP比0・9％。一方、防衛関連経費については、米国が同様に負担増を求めるNATOの算定基準を参考とする。

従来の防衛費に加え、総務省所管の旧軍人遺族らへの恩給費2371億円を含める。国土交通省による海上保安庁予算2112億円など、GDP比1・3％を目安に合算可能な項目を検討する。

防衛白書によると、17年度はNATO加盟国ドイツが対GDP比1・2％、中国は1・3％だった。政府関係者は「米国のさらなる増額要求が避けられる上、中国の疑念も招かない」と見込んでいる。

政府は防衛大綱に関連して、GDP比1％枠内で防衛費を増加させる方向。空母による運用が可能な最新鋭ステルス戦闘機「F35B」約20機を新たに米国から調達する考えで、F35Aも40機程度を追加調達することも視野に入れている。

トランプ政権が米国製品購入を呼び掛ける「バイ・アメリカン」政策に合致し、日本も装備の「まとめ買い」による値下げ効果が期待される。農産品などを巡り、厳しいやりとりが想定される日米貿易交渉を前に、カードを持っておきたいとの意向も働いている。

F35B、20機新規導入検討
空母化へ大綱明記で調整

【共同】政府は、空母による運用が可能な最新鋭ステルス戦闘機「F35B」を新たに導入する検討に入った。年末に策定する防衛力整備の指針「防衛計画の大綱」に明記する方向で調整している。短距離で離陸し、垂直に着陸できるのが特徴。海上自衛隊の護衛艦「いずも」改修を念頭に、事実上の空母化に乗り出す方針を踏まえ、艦搭載機も考える必要があると判断した。20機程度の調達を目指す。複数の政府筋が28日、明らかにした。

航空機を搭載し海上で航空基地の機能を果たす空母化に加え、一体的な運用を想定する艦載機を検討することで専守防衛を逸脱するとの懸念が一層強まりかねない。政府は「防衛目的」として用途を明確に示す意向だ。

F35Bは、主に沖縄県・尖閣諸島を含む南西諸島防衛に活用することを想定。甲板改修後のいずもでの離着陸を見込む。病院船機能などを持たせれば、自然災害時にも役立つとみられる。自民党は5月にまとめた提言で「多用途運用母艦」とF35B導入を求めていた。

F35に関しては、B型のほか、通常の滑走路で使用し、より航続距離が長いA型がある。政府、与党内に新たに導入を検討するB型と、A型の追加購入を含め計100機程度を今後調達すべきだとの案も一部に浮上する。ただ、政府関係者は「いずも型は2隻。搭載できるのは1艦10機、2艦で20機ほどだ。新たに調達する場合、A、Bを合わせ計60機程度にとどまるだろう」と指摘した。

政府は「空母化」方針を大綱に盛り込む方向。F35Bについて「短い滑走路で離陸することができる。今研究しているところだ」（岩屋毅防衛相）としていた。

空母を巡って、海洋進出を強める中国が2隻目の国産空母の建造に着手したことが判明。将来的に4隻以上を目指しているとされる。日本側の検討には、こうした動きへの警戒感もある。

政府、防衛目的を強調

日産、ルノー「提携維持」
三菱自も、首脳が確認

【共同】日産自動車、三菱自動車、フランス大手ルノーの首脳は29日、企業連合を束ねてきたカルロス・ゴーン容疑者の逮捕を受けて初めて対応を協議し、今後も3社の提携を維持することを確認したとの共同声明を発表した。

三菱自が連合に加わる前から過去20年近くにわたり「並ぶもののないほどの成功を収めてきた」と強調したが、3社の統括会社トップを務めるゴーン容疑者の処遇など山積する課題は先送りした。

声明は「3社は引き続き連合の取り組みに全力を注ぐ」と表明した。連合が機能不全に陥るのは防いだが、日産が人事や資本関係を巡るルノーとの「いびつな関係」（日産幹部）の是正に動けば対立は避けられない。先行きは波乱含みだ。

統括会社はオランダの首都アムステルダムにある。日産の西川広人社長、三菱自の益子修最高経営責任者（CEO）、ルノー暫定トップのティエリー・ボロレCEO代理がインターネット中継などで協議した。

3社の結束を固めることを優先し、声明は統括会社トップであるゴーン容疑者の進退や、日産とルノーの資本構成の見直しには一切、言及しなかった。

統括会社トップの会長兼CEOはルノーが出すことが規定で決まっている。日産と三菱自はゴーン容疑者を代表取締役会長から解任したが、ルノーは会長兼CEOにとどめている。

ゴーン容疑者は逮捕前、ルノー主導による日産との経営統合を進めていたとされる。日産は逮捕を機に、ルノーが日産株の43・4％を持つのに対し、日産は15％しかルノー株を持たない資本構成を見直したい考えだ。

ルノーの筆頭株主であるフランス政府のルメール経済・財務相は「パワーバランス（力関係）の変更を望まない」と日産をけん制している。

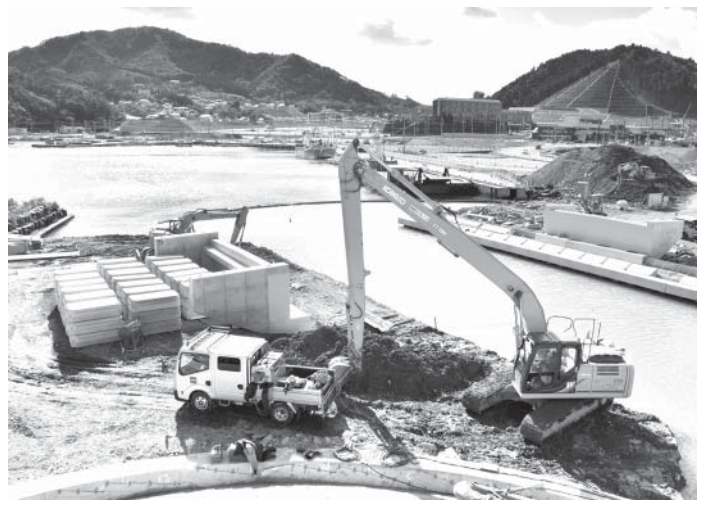
復興工事受注の会社倒産
影響の被災地、再開急ぐ

【共同】東日本大震災の復興工事を受注していた建設会社が倒産し、工事がストップするなど被災地に影響が広がっている。岩手、宮城、福島の3県が計25件を発注し、宮城県を中心に市町村の発注も多い。各自治体は2020年度末までの復興期間内に工事を終えるため、入札が不要な随意契約で業者を選び直すなどして再開を急ぐ。

倒産したのは、さいたま市のエム・テック。10月1日に東京地裁に民事再生法の適用を申請したが、スポンサーが付かず、今月20日から破産手続きに入った。東京商工リサーチによると、負債総額は約250億円。契約額は、21件を発注していた宮城県が計約80億円と大きく、岩手県（2件）が同16億円、福島県（同）が同2億円。これとは別に、計12件を発注した宮城県内の5市町でも同87億円に上る。岩手県の担当者は「大船渡市の水門整備で本体の着工に入れず、完成時期が19年12月から1年ほど遅れる」と困惑する。

宮城県女川町の女川港では、県発注の橋（長さ28メートル、幅10メートル）の架け替え工事が止まっている。県によると、工事の進捗率は10月1日時点で約3割。現場には橋の土台しか見当たらず、19年3月までの工期はずれ込むことが確実だ。

橋には町の中心部と魚市場をつなぐ役割があり、物流がスムーズになるよう早期の完成が期待されている。町は20年春までに周辺の護岸エリアに公園を整備する予定だが、工事の遅れにより全体の計画が停滞しかねない。担当者は「街づくりに影響が出ないよう、県は早く工程を示してほしい」と気をもんでいる。


架け替え工事が中断している橋＝1日、宮城県女川町（共同）

NEC、照明事業から撤退
来年4月、競争激化で赤字

【共同】NECは29日、照明事業から撤退すると発表した。照明事業を手掛ける子会社NECライティング（東京）の全事業を投資ファンド側へ来年4月に譲る。発光ダイオード（LED）照明の価格競争が激しく、営業赤字が続いていた。

NECは事業譲渡の対価として、日本みらいキャピタルが助言する投資ファンドが全額出資する新会社の株式5％を受け取る。この新会社がNECブランドを商品に利用することを当面認める。NECライティングの従業員は約400人で、滋賀県甲賀市に工場を持つ。今後、NECライティングの従業員の希望退職にも応じる方針。

NECの照明事業は、ピーク時の2007年3月期に約640億円だった売上高が、18年3月期には約170億円に減少。1952年に蛍光灯の量産を開始し、液晶パネルに後ろ側から当てる光源のバックライトも手掛けていた。近年は蛍光灯よりも製造が容易なLEDが普及し、照明事業に参入する企業が増えている。

憲法審、今国会初の開催
野党6党派反発し欠席

【共同】衆院憲法審査会は29日午前、先月24日召集の臨時国会で衆参両院を通じ初めての審査会を開いた。自民、公明両党と、野党の日本維新の会、希望の党、会派「未来日本」が出席。

立憲民主、国民民主などの野党6党派は、森英介会長（自民党）が開催を強行したとして反発し、欠席した。与党が出席を促したが、野党側は応じず、開催は予定より25分程度遅れた。

憲法審では、自民党人事に伴い中谷元氏らが幹事を辞任。新藤義孝氏ら6人を新たな幹事に選び、手続きのみの約2分で終了した。新藤氏は与党筆頭幹事に就いた。国民投票の利便性を公選法にそろえる国民投票法改正案は議論されなかった。

新藤氏は終了後、自民党本部で記者会見し「立法府として国民に責任を果たすため、開かなければならなかった」と理解を求めた。下村博文・党憲法改正推進本部長の「野党は職場放棄」発言について「他党の方に不快な思いをさせ、自民党として謝罪したい」とも語り、今後も野党側と協調して審査会開催を目指す考えを強調した。

これに対し立民の辻元清美国対委員長は「安倍政権の横暴極まりだ。憲法論議の大幅な遅れにつながるのは間違いない」と与党の姿勢を批判した。憲法審を欠席した野党6党派の国対委員長は自民党の森山裕国対委員長を訪ね、抗議した。

一方、国民投票法改正案に関し公明党の北側一雄憲法調査会長は会見で「次の通常国会ですぐに採決できるといい」と述べ、今国会中の成立が厳しくなったと認めた。

自民党は、憲法9条への自衛隊明記など4項目の改憲案について、今国会での提示を見送る方針だ。

週末おでかけ情報

EXPOSIÇÃO

KARIN LAMBRECHT – ENTRE NÓS UMA PASSAGEM
Curadoria: Paulo Miyada
Onde: Instituto Tomie Ohtake (Rua Coropés 88, Pinheiros)
De 22/11 a 10/02/2019
Horário: 3ª a domingo das 11h às 20h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/2245-1900 ou www.institutotomieohtake.org.br

ANREALAGE – A LIGHT UN LIGHT
Onde: Japan House São Paulo (Avenida Paulista 52, Piso Térreo, Bela Vista)
De 06/11 a 06/01/2019
Horário: Terça a sábado das 10h às 22h e Domingos e feriados das 10h às 18h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: www.japanhouse.jp/saopaulo

NONOTAK - 次元 DIMENSÃO
Arquiteto e Músico Japonês Takami Nakamoto e a Ilustradora Noemi Schipfer
Curadoria: The Force
Onde: Japan House São Paulo (Avenida Paulista 52, Piso Térreo, Bela Vista)
De 02/10 a 06/01/2019
Horário: Terça a sábado das 10h às 22h e Domingos e feriados das 10h às 18h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: www.japanhouse.jp/saopaulo

RYUKYU BINGATA – Cores e Formas das Artes Têxteis de Okinawa
Onde: Biblioteca da Fundação Japão (Av. Paulista 52, 3º andar, Bela Vista)
De 10/11 a 15/12/2018
Horário: Terça a Sexta 10h30 às 19h30 e Sábado: 9h às 17h
Classificação: Livre
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/3141-0110 ou biblioteca@fjsp.org.br

PAVILHÃO JAPONÊS – PARQUE DO IBIRAPUERA
Onde: Pavilhão Japonês (Parque do Ibirapuera – portão 10 - próx. ao Planetário e ao Museu Afro Brasil)
Visitação: quarta-feira, sábado, domingo e feriados
Horário: das 10h às 12h e das 13h às 17h

CINEMA

BUNKYO CINEMA
Data: Primeira quarta-feira útil do mês, às 13h (05/12/2018)
Onde: Pequeno Auditório do Bunkyo (Rua São Joaquim 381, Liberdade)
Capacidade: 200 lugares
Ingressos: Gratuitos (ingressos serão distribuídos 30 minutos antes de cada sessão, respeitando a ordem de chegada)
Informações: 11/3208-1755 e www.bunkyo.org.br

EVENTO

KARAOKE-DANCE DO NIKKEY CULTURAL
Onde: NIKKEY CULTURAL II (Rua BARAO DE IGUAPE 135 2 ANDAR)
Dias TERÇA E QUINTA
Horário: 8h às 17h (Serve Almoço)
Informações: 11/99857-3845 com Iritsu

POP-UP OBENTÔ AIZOMÊ NA JAPAN HOUSE SÃO PAULO
Onde: Japan House São Paulo (Avenida Paulista 52, Piso Térreo, Bela Vista)
De 06/11 a 23/12/2018
Horário: 3ª a domingo, a partir das 11h30 (Produção diária limitada)
Valores: Obentô Aizomê R$40,00 (450g) e Mini Obentô Aizomê R$25,00 (300g)

CORAL DO PALÁCIO AVENIDA – BRADESCO – CURITIBA/PR
Onde: Palácio Avenida em Curitiba (Travessa Oliveira Belo 34, Centro, Curitiba/PR)
Duração: 45min
De 30/11 à 16/12/2018
Horário: 20h15 (sextas, sábados e domingos)

CONVERSAS SOBRE O JAPÃO MODERNO
Convidados: Piti Koshimura, Gustavo Yamazaki, Denis Oyakawa e Yudi Tamashiro.
Onde: Centro Cultural Aliança (Rua Dep Lacerda Franco 328, Pinheiros)
Dia 01/12/2018
Horário: 13h às 18h30
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: contato@yomitai.com.br

ARTES TRADICIONAIS DO JAPÃO
Cerimonia do Chá e Ikebana (Demonstrações e Palestras)
Onde: Casa da Cultura Japonesa (Av Prof Lineu Prestes 159, Cidade Universitária, São Paulo/SP)
Dia 01/12/2018
Horário: Inicio as 10h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/3091-4645

MESA REDONDA: BASES MILITARES EM OKINAWA
Participação: Karina Satomi Matsumoto e Victor Kanashiro
Onde: Assoc Okinawa Kenjin do Brasil (Rua Tomaz de Lima 72, Liberdade)
Dia 01/12/2018
Horário: 14h às 17h
Confirmar Presença: 11/3106-8823

XIII BINGO BENEFICENTE DO BUNKYO DE MOGI DAS CRUZES/SP
Adquira as cartelas na sede do bunkyo na Rua Presidente Campos Salles 230.
Onde:Centro Esportivo Bunkyo(Av Japão 5919, Porteira Preta, Mogi das Cruzes/SP)
Dia 01/12/2018
Horário: 16h
Informações: 11/4791-2022

KARAOKÊ-DANCE NIKKEY CULTURAL
Pioneiro nessa atividade cujo objetivo é de proporcionar um ambiente familiar onde os freqüentadores cantam suas músicas preferidas e dançam ritmos como o chá chá chá , rumba, forro , samba e country. Todos os domingos Baile com Música ao Vivo.
Onde: Assoc. Cultural Tokushima Kenjin do Brasil (Av Dr Antonio Maria Laert 275, 100m do Metro Tucuruvi)
Dias 01 e 02/12/2018
Horário: Sábados Karaokê Dance das 8h às 16h e Domingos das 8h às 18h e das 18h às 22h Bailes com música ao vivo.
Informações: 11/99857-3845 com Iritsu

50º TOYO MATSURI – FESTIVAL ORIENTAL
Onde: Praça da Liberdade
Dias 01 e 02/12/2018
Horário: sábado das 10h30 às 19h e domingo das 10h30 as 18h
Informações: 11/3208-5090 e E-mail: acalliberdade@terra.com.br

BAZAR BENEFICENTE OSAKA NANIWA KAI
Onde: Osaka Naniwa Kai (Rua Domingos de Morais 1581, estação Vila Mariana)
Dia 02/12/2018
Horário: 10h às 16h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: facebook.com/events/490366964787227 ou www.osakananiwakai.org

HAISAI – IPIRANGA
Onde: Assoc Okinawa do Ipiranga (Rua Tito Prates da Fonseca 191, próx ao metrô Sacomã)
Dia 02/12/2018
Horário: 11h às 18h
Convite Antecipado: R$30,00
Informaçoes: 11/971687034 – Carla e 11/99509-1304 – Isabela

21º CAMPINAS ANIME FEST – OFICIAL
Onde: Liceu Salesiano Nossa Senhora Auxiliadora (Rua Baronesa Geraldo de Resende 330 , Campinas/SP)
Dia 02/12/2018
Horário: 11h às 19h
Ingresso: R$32,00
Informaçoes: www.campinasanimefest.com.br

ANIME ARTS 19ª EDIÇÃO – SOROCABA
Onde: Colégio Anglo Sorocaba (Av Antonio Carlos Comitre 2277, Parque Campolim, Sorocaba/SP)
Dia 02/12/2018
Horário: 11h às 19h
Ingresso: R$40,00 e R$20,00 (meia)
Informaçoes: www.anime-arts.com.br

HOMENAGEM AO ANIVERSARIO DO IMPERADOR 2018
Onde: Museu Histórico da Imigração Japonesa no Brasil (Rua São Joaquim 381, 9ºandar, Liberdade)
Dia 05/12/2018
Horário: 9h
Ingresso: Entrada Grauita
Informações: 11/3208-1755

CURSO

CURSO HISTÓRIA DO JAPÃO – 2018
Dia 01/12/2018 – História do Japão 9 – Era Heisei até hoje.
Onde: Associação Cultural Mie Kenjin do Brasil (Av. Lins de Vasconcelos 3352, Vila Mariana)
Horário: 9h às 12 horas.
Inscrições:R$35,00+R$3,50(-taxa do Sympla) por aula. Inscrições e pagamentos até 03dias antes da data do curso, na secretaria da Associação Mie ou pelo site culturajaponesa.com.br.
Informações: 11/5549-6857

CURSOS DA NIKKEY CULTURAL
Onde: Rua Tomas Gonzaga 95, 4andar, Liberdade
Cursos: Karaokê, Idiomas (japones, inglês e espanhol), teclado, informatica para a 3ª idade e dança de salão. E agora Curso de Tênis de Mesa.
Informações: 11/99857-3845 Iritsu

PALESTRA

PALESTRAS GRATUITAS DO CIATE
DEZEMBRO/2018
04/12 – Terça-feira – 14h às 17h – “Consulta Jurídica – Herança, Divórcio, Trabalhista” (Tatsuya Otake – Advogado no Japão)
06/12 – Quinta-feira – 14h às 16h – “Como Funciona o Lean Manufacturing e o 5S Desenvolvido pela Toyota do Japão” (Roberto Cuellar – Consultor de Desenvolvimento de Negócios)
11/12 – Terça-feira – 14h às 16h – “Crença Social Japonesa – Compreendendo, Facilita a Convivência no Japão” (José Vanzelli – Professor de Japonês no CIATE)
13/12 – Quinta-feira – 14h às 17h – “Descobrindo Talentos: Como Obter o Sucesso Profissional” (Marcos Suguiura – Psicólogo)
Onde: Rua São Joaquim 381, Liberdade.
Informações e Inscrições: 11/3207-9014 e www.ciate.org.br e www.facebook.com/ciate

EXCURSÃO

REVEILLON 2019 NIKKEY CULTURAL Resort Thermas Paraguaçu Paulista
Saída: 28/12/2018 às 22h
Retorno: 02/01/2019
Dias 29 e 30/12: café da manhã; lazer completo com monitores; almoço e jantar; baile à noite.
Dia 31/12: café da manhã; lazer com monitores; almoço, chá da tarde às 17h; ceia e baile do branco às 22h com música ao vivo e queima de fogos.
Dia 01/01/2019: café da manhã; lazer com monitores; almoço; jantar e retorno para São Paulos às 22h.
Informaçoes e Reservas: Emilia 11/3751-9910 e 11/99510-8499; José Iritsu 11/99857-3845; Deise 11/3749-0374, Ikuhiro 11/99733-9701 e Ayako 11/99888-2935.

Divulgação de eventos
com Cristiane Kisihara
E-mail: cris_kisihara@hotmail
TEL: 11/3340-6060

ナマハゲ無形遺産決定

「来訪神」8県10行事 ユネスコ、保護に弾み

【ポートルイス共同】モーリシャスで開催中の国連教育科学文化機関（ユネスコ）政府間委員会は29日、「男鹿のナマハゲ」（秋田）や「甑島のトシドン」（鹿児島）など8県10件の伝統行事で構成する「来訪神　仮面・仮装の神々」を無形文化遺産に登録すると決定した。鬼の姿などをした異形の「神」が家々を毎年回るという、なじみ深い行事が世界的な評価を得た。

「来訪神　仮面・仮装の神々」のユネスコ無形文化遺産登録が決まり、くす玉を割って喜ぶ関係者と「男鹿のナマハゲ」＝29日午後、秋田県男鹿市役所（共同）

補助機関は「地域文化の多様性を示している」などとして10月、登録を勧告していた。

政府はトシドンの遺産登録後、男鹿のナマハゲの追加登録を目指した。だが「トシドンと類似している」との理由で見送られたため、複数の行事をまとめて一つの遺産とみなす手法に切り替え、昨年3月に「来訪神」として登録を申請した。

日本の候補が次に登録審査を受けるのは2020年。政府は、宮大工などが継承する「伝統建築工匠の技　木造建造物を受け継ぐための伝統技術」の登録を申請している。

いずれも厄災を払って幸福をもたらすとされる10件だが、過疎化や少子高齢化に伴い、神に扮する担い手の確保が課題となっている。各地で保護の取り組みが進められており、遺産登録が今後の活動の弾みになることが期待される。

日本の無形文化遺産登録は、2016年の「山・鉾・屋台行事」（京都など18府県）以来、2年ぶり。ただ形式上は、09年に単独で遺産登録されていた甑島のトシドンの「拡張」と扱われるため、総数は21件のままで変わらない。政府閉委員会最終日の12月1日、遺産リストに記載される。

来訪神の10件は、それぞれ国の重要無形民俗文化財に指定され、関係自治体と住民らが保存・振興のための協議会を組織している。登録の可否を事前審査するユネスコ文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に「男鹿のナマハゲ」の登録が決まった。秋田県男鹿市の双六地区で、40年以上文化の継承に尽力してきた保存会会長三浦幹夫さん（69）は「登録はずっと夢だった。こんなうれしいことはない」と喜びの声を上げ「先輩から引き継いだ大切な文化。絶対に絶やしてはいけない」と気を引き締める。

双六地区は日本海に面した小さな漁師町。地元の海洋高校を卒業後、神奈川の水産会社で、マグロ漁船の乗組員として世界を回った。無形文化遺産の登録が審議されたモーリシャスも、燃料や水の補給で寄港した思い出の地だという。

ナマハゲを本格的に始めたのは、水産会社を約10年で退社し地元に戻った際に、先輩から「やってみないか」と声を掛けられたことがきっかけだった。

初めての大みそかの晩は伝統を背負うプレッシャーでいっぱいだったが、訪れた家の子どもは恐怖で泣きじゃくり、気がつけば「怖い神様」になりきっていた。人々に感謝される喜びもあり、欠かさず大みそかにはナマハゲに扮するようになった。今では「僕の人生そのもの」だという。

36歳まで地元の民間企業に勤めた後、母校の高校の教諭に。生徒に地元の伝統を伝えようと、ナマハゲの姿で太鼓を演奏する「なまはげ太鼓同好会」（現・郷土芸能部）を設立し顧問に就いた。ナマハゲは伝統的に男性が装うが、部の半数が女子の年もあるという。

双六地区のナマハゲの担い手は現在5人で、平均年齢は約70歳。「僕たちが死んだらこの地区のナマハゲは絶える」と厳しい表情を見せる。高齢化が進み、迎え入れる家の減少も深刻だ。「今年は子どもや孫が帰省しない」「もてなすためのお膳の準備が大変」と断られることも増えた。

ナマハゲに関心を持ってもらおうと、2003年ごろに地元の秋田大や国際教養大の留学生を地区に呼び、大みそかにナマハゲを体験してもらう試みを始めた。最初はぎこちなかったが「男鹿の伝統を共有できるなんて最高だ」と好評だ。

外国人がナマハゲになることに、批判的な声もあるという。しかし、国籍も性別も関係なく、いろんな人にナマハゲを知ってもらいたい思いが強い。「伝統を絶やすは簡単、守るは困難。登録をきっかけに『ナマハゲをやりたい』と手を挙げてくれる人が一人でも増えれば」と期待する。

米中摩擦の対話解決要請へ

首相、自由貿易維持訴え

【共同】安倍晋三首相は訪問先のアルゼンチンで30日（日本時間12月1日未明）、トランプ米大統領、中国の習近平国家主席と個別に会談する。米中貿易摩擦の激化を受け、対話による解決を両氏に要請。自由で公正な貿易体制の維持を訴える考えだ。北朝鮮の非核化に向けた連携強化も確認する。

首相は貿易摩擦に関し「対抗措置の応酬はどの国の利益にもならない」として、保護主義拡大への懸念を伝える見通し。米中首脳の直接会談を前に「仲介役」を務め、20カ国・地域（G20）の次期議長国として存在感を示す狙いがありそうだ。

トランプ氏とは、来年1月にも始まる日米の通商交渉を控え、双方の利益となるような貿易、投資の拡大について議論。インド太平洋地域の経済発展に向けた協力でも合意する。中国に対し、国際社会で建設的な役割を果たすよう促す方針も申し合わせる方向だ。

習氏との会談では、世界貿易機関（WTO）をはじめとする多角的貿易体制の重要性で一致。事業の開放性や透明性を前提とした第三国でのインフラ協力の促進を話し合う。首相は沖縄県・尖閣諸島を巡り対立する東シナ海情勢の緊張緩和も重ねて要請する。

北朝鮮問題に関しては、米中両首脳と国連安全保障理事会の制裁決議履行の必要性を確認。日本人拉致問題解決への理解と協力も改めて求める。

首相は政府専用機で羽田空港を29日に出発した。出発前、アルゼンチンでのG20首脳会合について「自由で公正な貿易体制の強化と、世界経済の持続的な成長について議論をリードしたい」と記者団に強調。現地で行うプーチン・ロシア大統領との会談に関しては「平和条約交渉について、じっくり話をしながら、進展に弾みをつける会談にしたい」と語った。

アルゼンチンには29日夜（日本時間30日午前）に到着する。

北朝鮮非核化で連携も

認可外、国が半額負担へ

幼保無償化、地方を軽減

【共同】政府は29日、2019年10月に予定している幼児教育・保育の無償化を巡り、認可外保育所にかかる費用のうち2分の1を国庫負担とする方針を固めた。原案の3分の1から拡大し、その分、地方の拠出割合を軽減する。費用負担に反発する地方側に譲歩する。

無償化にかかる費用は年間約8千億円で、政府は消費税率10％への引き上げに伴う税収の増加分を財源とする考えだ。

初年度の半年間（19年10月～20年3月）に限って全額国費で賄うが、翌年度からは地方にも負担を求めている。

内閣府が既に地方側に示した原案では、認可外保育所やベビーシッター、一時預かりの無償化にかかる費用は国と都道府県、市町村が3分の1ずつ負担することになっていた。見直し案では、これを認可保育所などと同じ、国2分の1、都道府県と市町村は4分の1ずつに変更する。

ただ全国市長会や全国町村会は恒久的な「全額国費負担」を求めており、今回の見直しだけで納得するかは不透明だ。市長会は「行政として認可外施設の安全性には責任が持てない」とも主張しており、政府は「保育の質」の確保についても対応策を検討している。

一方、全国知事会も29日に会合を開き、実質的に地方負担が増えないよう国に要請することを確認した。国の負担割合の拡大や自治体への財政支援を求める方向で、上田清司会長（埼玉県知事）に対応を一任。政府側から一定の支援が確約されれば、費用負担に応じる構えだ。

ナマハゲに扮して40年

大切な文化、絶やさず継承

米、中国車関税上げ検討

USTR代表、40％へ

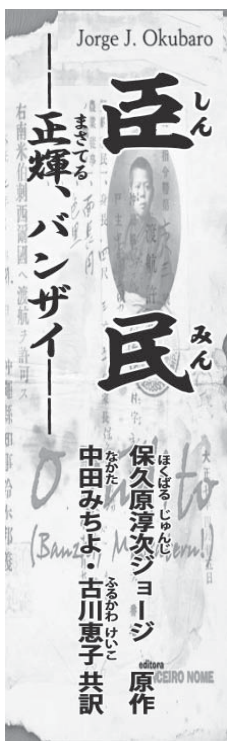
【ワシントン共同】米通商代表部（USTR）のライトハイザー代表は28日、中国から輸入する自動車に対する関税を現行の27・5％から40％へ引き上げることを検討するとの声明を発表した。アルゼンチンで今週末に開かれる予定の米中首脳会談を前に、中国をけん制した。

中国による米国車への高関税に対抗する狙いがあり、声明では「トランプ米大統領の指示により、車に対する関税を同率にするため、あらゆる手段を精査する」と強調した。

米国の乗用車に対する関税は2・5％。中国からの輸入車には知的財産権侵害に対抗する制裁第1弾で7月に発動した追加関税25％を加えて、計27・5％の税率を適用している。中国は7月に輸入車全般への税率を15％に引き下げた一方、米国車に対しては25％の報復関税を加え税率を計40％とした。

ライトハイザー氏は「中国の攻撃的な国家指導の産業政策は米国に深刻な被害をもたらしている。問題提起を続けているが、中国は内実を伴った改革の提案をしていない」と指摘し「特に自動車関税に関する政策はひどい」と主張した。

米商務省によると、米国が中国から2017年に輸入した乗用車は約5万8500台だった。



はじめに寄港するのはシンガポールで、船はずっと南西にむけて舵をとりつづけ、すでに出港から3週間が過ぎようとしていた。この貨物船の状態を少しでも耳にしていたら（あるいは日伯両政府は情報不足だったのかもしれないが）、若狭丸の航海中に起きたことに驚きはしなかっただろう。むしろ、問題が起きるのが遅かったことに驚いたはずだ。10年前、日本人のブラジル移住がはじまって以来、このような事件は記録されたことがなかった。もっとも、それに似たスケールの小さい事件はあったはずではあるが。

それはブラジルに移民をのせていく若狭丸の6回目の航海のことだった。

船籍は日本郵船会社（NYK）で、会社は58隻の船を所有し、総数6万6000トンにもなるという。社主は旧土佐藩士の岩崎弥太郎で、廃藩置県の自藩解体のおりに、同業の小さな船会社を買収・併合し大きな会社にした実業家だ。

そのご短期間に三菱という名の商船会社を創立し一躍有名になった人物である。日本郵船会社の正式の創立は1885年だが、そのころ岩崎はすでに海外の貿易航路を有し、先行の貿易会社と同じように政府から利益を保証されていた。また郵便物、その他に関しても確実な保障を受け、政府から定期的に助成金も受けていた。その見返り条件として会社の運営や航路選択は政府の監督下におかれるというものだった。

当時海外との取引に使われるのは古い貨物船というのが常識であったから、若狭丸も例外でなく古かった。ブラジルから日本に向かう往路はコーヒー豆を満載し、ブラジルに向かう帰路は空荷にしないために、移民を運んでいたのである。したがって船は最悪で、鉄くずとして放棄されてもおかしくないほど朽ちはてた状態だった。

船体は6000トンで、ベッドも宿泊用品もない船底いっぱいに移民たちが押しこまれていた。そこに積まれていた荷物の臭い、コーヒーの臭いは航海中でもずっと消えることはなかったが、最悪というほどのものでもない。

大人ひとりの空間はゴザが一枚敷ける90センチ×180センチで、およそ2ヵ月の航海中はそこで寝起きした。けれども、13歳になったばかりの正輝には、子どもとして半分の空間しか許されず、寝ることはできたが起きるとき、下になった片側の腰骨、肩、腕がひどく痛んだ。痩せていたからだ。狭い場所で人に迷惑をかけずに体を伸ばすなど不可能だった。そんなことをすれば、となりの人を押すことになり、しかり飛ばされるか、押し返されるのだった。

けれども、正輝は文句ひとつ漏らさなかった。もっと小さい子どもは母親に抱かれたままねていたのだから…だれひとり心地よく眠れる者などいなかったのだ。男も女も大人も子どもも貨物船の船底に敷かれたゴザの上で、すし詰め状態で寝ていた。

正輝と叔父たちは使い慣れた沖縄弁で話せたのが、せめてもの幸いといわねばならない。移民たちは出身の県別に分けられていた。1917年、ブラジルむけ移民が再開されたが、移民全体の数字からみても沖縄県人が圧倒的に多かった。

前年の若狭丸5回目の航路のおりには、1579人中、1235人が沖縄出身者だったが、この6回目の航海は神戸を出港した1800人中、768人が沖縄県人だ。そして、2番目に移民が多かったのは鹿児島県で336人。沖縄県人の約半数にあたる。

レストラン BAN 伴

寿司、鍋、定食…　多彩な食材で皆様をお待ち致しております
Rua Thomaz Gonzaga, 18 e 20
Liberdade - São Paulo - SP
(11) 3341-7748　(11) 3341-7749
Almoço = 11:30hs. às 14:00hs.
Jantar = 18:30hs. às 23:30hs.

SCANDALLO lounge
世界で最高の夜をあなたに

5つの最適な調和された空間…
ダンスホール
スシバー付きのレストラン
バンガロー風のレストハウス
パーティー会場
スペシャルシート
豊富なオプションを、お楽しみ下さい。
どなたの口にも合う極上のお食事を用意しております。
快適で洗練された空間が、あなたを包み込む…
多くのエンターテイメントでお楽しみ下さい Tel.: (11) 2066-2700
Rua Coronel Diogo, 1199 - Aclimação - São Paulo - SP

Dinho's
O CLÁSSICO DA GRELHA
日系コロニアの皆さまへ
毎週金曜日に、寿司と刺身をどうぞ！
昼食、夕食ともに
海水魚、淡水魚をすべて取りそろえたブフェー
また毎週水曜日と土曜日は
前菜サラダー式と、デザートまで含めた
グランド・ブフェー・フェイジョアーダ
―― お待ち致しております ――
AL. SANTOS, 45 - ☎ 3016-5333

むっくり ムクナG
Muccuri Mucuna G

42レアル
（150g入）
ニッケイ新聞編集部で販売中！
問合せ：(11) 3340 - 6060
ムクナ豆とガラナの焙煎粉末を組み合わせた
中高年向け
健康食品
【こんな方にオススメ】
・物忘れしやすくなり、記憶力が衰えてきた。
・集中力、注意力が弱まり、何事にも感動しなくなった。
・ストレスがたまって気持ちが前向きになれない。
・動作が鈍く、足腰が弱くなった。
・寝つきが悪く、疲れが残るようになった。

ミュージカル アニー 3500人から邦人少女抜擢!

在伯2年、りのんちゃん出演中 駐在員子弟が夢の舞台に

現在、聖市で絶賛上演中のミュージカル『Annie, O Musical(アニー)』に、駐在員子弟の少女が出演している。上山りのんちゃん（11、東京都）は、3500人以上の応募者の中から倍率150倍という狭き門を突破し、主人公・アニーとともに孤児院で暮らすケイト役に抜擢された。在伯わずか2年半ながらポルトガル語を習得し、夢の舞台に立った〝小さなミュージカル女優〟に話を聞いた。

ケイト役で出演中（前列中央、提供写真）

「アニーは小さい時からずっと出演したかった作品。まさかブラジルで舞台に立てるとは」――まだ邪気なさの残る彼女だが、話を始めると女優さながら。しっかりとした口調で、出演までの経緯を振返った。

ピアノ教師の母のもと、音楽に恵まれた環境に生まれた。「お母さんのお腹にいた時から、音楽を鳴らすとお腹を蹴っていたそうです。生まれてからも、しゃべる前から歌を口ずさんでいたと両親から聞いています」と話す。

上山りのんちゃん

ミュージカルに興味を持ったきっかけは3歳の時に見た『キャッツ』。「物心付く前なので覚えてはいませんが、何度も何度も繰り返しDVDを見ていたようです」と笑う。「アニーを初めて見た時には『これにいつ出れるの?』と母に聞いたそうです」という。

その後、4歳から子役を育成する「シノザキシステム」に通い始め、歌唱や演技を本格的に学び始めた。そして、初めてオーディションに臨んだのが念願の『アニー』だった。その出演は叶わなかったものの、『ズボン船長』で初デビュー。

これを皮切りに、15年には倍率150倍以上の激戦を突破し、日本中で喝采をさらった大人気作『レ・ミゼラブル』に主人公の娘リトル・コゼット役などに抜擢され、要となる役所を堂々と演じた。

日本で頭角を現し始めた頃、父の転勤に伴って16年4月に渡伯。「当初は、ミュージカルはできないものと思っていた。でも、学校の友人から子役を育成するスタジオがあると聞いて通い始めた」と話す。

だが、出演には言語の壁があった。「初めはポ語が出来なかったから、出演からは程遠かった。ポ語の授業が多いインターナショナル・スクールに変えて勉強した」。この努力が結実し、2年越しとなる夢の舞台に立つチャンスを掴み取った。

「歌も踊りも演技も、ミュージカルには好きなことがつまっている。舞台にはドラマや映画にない、本当にやっているという臨場感がある。何度も繰り返すことが出来るから演技にも磨きがかかる」と醍醐味を語る。

「演技は自己完結するものではなく、見ている人に夢を持ってもらえるように演じるのが女優です」と目を輝かせた。

昨年5月に本場米国のブロードウェーを観て衝撃を受けた。将来の夢は「日本でミュージカル女優になること」。異国の地で夢に向かって突っ走っている。

大耳小耳

『アニー』は、ハロルド・グレイの新聞連載漫画「小さな孤児アニー」を原作として製作され、1977年に上演されたミュージカル。どんな時も夢と希望を失わず孤児院で暮らす少女アニーが、本当の両親を探すことから物語が展開されるミュージカルの名作だ。爾来、3度に及び映画化され、世界40カ国以上で上映されてきた大人気作なだけに、当地での子役のオーディションには3500人以上が殺到。全伯5都市でオーディションが実施され、最終選考では90人近くにまで絞られた。3日間の強化訓練の後、狭き門を突破して選抜された21人のうちの一人が、りのんちゃんだ。

◎

本作の上演時間は160分（15分休憩）。その内の半分くらいに、りのんちゃんが出演する。りのんちゃんによれば、公演には実際に孤児院の子供たちも観にきたのだとか。「お父さんやお母さんが必ずいるということを感じてもらえたかな」と思いを馳せ、「始めは悲しいけど、信じて頑張れば最後には良いことがあるというのがこの作品のメッセージです」と見所を語った。今月のりのんちゃんの出演予定は以下の通り。12月1日午後4時半、2日午後7時、7日午後9時、9日午後3時、13日午後9時、15日午後9時。入場料は、75～310レアル。場所サンタンデール劇場（Av Juscelino Kubitschek, 2041）で1月まで上演中。

◎

ブラジル日本アマチュア連盟（NAK）の北川好美会長によれば、「来年から『エドアルドをNHK紅白に』署名運動を始める予定」だという。たしかにリオ五輪の次である東京五輪の年に、「ブラジル代表としてNHK紅白に送り込む」のは良いアイデアかも。署名運動が始まったら、ぜひ皆で協力したいところだ。

新曲ひっさげエドアルド凱旋

110周年慈善ディナーショー

「帰ってきましたよ。みなさ～ん、ぜひ聞きにきてください」――NHKの歌番組に出演するなど活躍する、「日本魂、演歌を歌いにきた情熱の男」非日系ブラジル人演歌歌手、エドアルド（34）が29日朝来社し、30日晩の慈善ディナーショーなどへの来場を呼びかけた。

訪日したキッカケを問うと、「10年前に母が家の前で強盗に襲われ、それがトラウマになりました。もっと安全なところへ住みたい。それなら日本がいい。そこで歌手になる夢を叶えたい。そう思って訪日しました」との答え。8年前に日系養母とともに訪日し、リオ五輪の前年2015年10月に夢のプロデビューを果たした。

「日本の方と話していて『最近日本も治安が悪くなった』とか聞きますが、ブラジルはケタが違う。僕は日本こそが自分の居場所だと日々感じています」としみじみ語った。

さらに「47都道府県の半分は歌いに回った。苦労がないといえばウソになりますが、移民の皆さんが昔ファゼンダでした苦労とは比べ物になりません」と、まるで日本人のようなスラスラとした日本語で豪快に笑い飛ばす。

股旅姿で「じょんがらひとり旅」

ディナーショーでは新曲「じょんがらひとり旅」に合わせて、股旅姿を披露する。「CDジャケット撮影で、初めて着た時は、マントが重くて三日間肩こりに悩みました」と笑わせつつ、「歌詞は、等身大の私の生き様を歌っています。ぜひ聞いてください」と薦める。異国・日本の芸能界で心の旅を続けるブラジル人青年の心境が演歌にこめられている。

特製Tシャツを着て、手ぬぐいを持つエドアルド。「ぜひ応援してください」と笑顔で呼びかけた

今回の曲で初めてエドアルドの公式グッズ（ファン用みやげ品）が作られ、今回のディナーショーなどでも販売される。「じょんがらセット」は手ぬぐい、絵葉書、缶バッジ3点で35レアル。Tシャツは110レ、CDはシングル50レ、アルバム100レで当日販売される。

2016年にはNHK「新・BS日本のうた」（岐阜県土岐市）に出演したほか、多数の日本のテレビ番組出演。今回日本に戻ってすぐには次のNHK収録が北九州で行われる予定。

エドアルドは「東京五輪の年に、ブラジル代表としてNHK紅白歌合戦に出場することを目指しています」と力強く語った。2年ぶりの帰伯だが、さらに日本語に磨きがかかった。

なお、2日（日）に開催されるブラジル紅白歌合戦の際、午後6時からもエドアルドのショーが行われる。

荒井商事 「カシャサを次のブームに!」

カシャサ協会と協働で普及

ガラナ・アンタルチカを日本で独占販売する総合商社『荒井商事株式会社』（荒井亮三代表取締役社長、本社＝神奈川県平塚市）は、日本カシャサ協会（佐藤裕紀会長）と協働し、日本でカシャサの普及を図っている。

カシャサは、世界で3番目に多く生産されている蒸留酒。同社は約10年前から、ブラジルのヤマト商事を通じて、日本でカシャサを販売している。

同協会は、カシャサの認知、普及、定着を目的として16年12月に設立。セミナーや試飲会、イベントなどを開催しており、同社もその活動を後押ししてきた。

（左から）古川主任とヤマト商事の山上正幸さん

先月25日に来社した同社海外事業部の古川マユミ主任によれば、より一層の普及のためにカシャサソムリエの資格制度設計を同協会は考案中。その情報収集のために当地を視察に訪れた。

古川主任は「カシャサを使った代表的なカクテルであるカイピリーニャを中心に紹介しているが、本場ブラジルで使われるライムや、砂糖黍で出来た砂糖は日本では少ない」と課題を挙げる一方で、「酒類業界ではハイボールやモヒートブームも萎みつつあり、市場では新たなブームとなるものが求められている。そこにカシャサが入り込めれば面白いのではないか」と期待を寄せた。

なお、問合せは、同協会（http://cachaca-japan.jp/）まで。

初釜初生けで新春祝う!

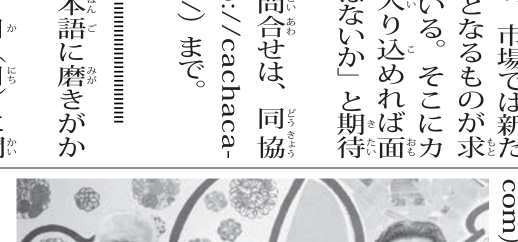
申し込み締切りは20日まで

茶道裏千家ブラジルセンターとブラジルいけ花協会の共催で「新春初釜、初生け」が、来年1月13日午前11時からマクスード・プラザホテル（Alameda Campinas, 150）で開催される。

ブラジル日本移民110周年の幕開けを飾った「新年会」に続き、初釜と初生けを同時開催するのは2度目。午前11時から茶会が始まり、12時45分から開会式。13時から昼食会に移り、14時半から特別ショーが用意されている。

来社した同センターの武田有美さん、ヴァウデルソン・クイアバーノ・シウヴェリオ・デ・ソウザさん、同会のエトソン・トンピソン・デ・リマ・ジュニオール会長は「旧年の感謝を込めると同時に、新たな一年がよい年となるよう祈り、お祝いできれば」と参加を呼びかけた。

申込みの締切りは、12月20日まで。問合せは（11・3145・8000、メールアドレス／cerimoniacha@hotmail.com）まで。


案内のため来社した一行

両陛下、外国人支援施設に

浜松、ポ語授業の見学も

【共同】静岡県を訪問していた天皇、皇后両陛下は28日、浜松市にある外国人学習支援センターを訪問し、外国人向けの日本語の授業を視察された。午後には同市の楽器博物館を見学。同日午後、帰京した。

同センターではこの日、ブラジル人やインドネシア人らが「できること、できないこと」をテーマに日本語で発表。天皇陛下は生徒に「日本の生活には慣れましたか」と尋ねていた。外国人を支援する日本人向けのポルトガル語の授業も見学した。

楽器博物館では、インドネシアの打楽器の合奏を鑑賞した。皇后さまは、自らが作詞した「ねむの木の子守歌」のピアノ演奏にも、笑顔で聞き入った。

年金（INPS）
受取りの
手続をいたします
Fazemos Aposentadoria
Fones:
3208 - 7803 / 3341 - 7308

PERFUMARIA TAKEO
化粧品専門
たけお店
二九四一・九二三三

第36回定期総会のお知らせ

ブラジルゲートボール連合定款第8章42条及び44条に基づき、第36回定期総会を下記の通り開催しますのでお知らせ致します。

記

日時＝2019年1月10日（木）
8時30分＝第1次招集、9時00分＝第2次招集
会場＝宮城県人会会館（聖市リベルダーデ区ファグンデス街152番）
議題＝1）2018年度の事業報告と2018年度の決算報告
2）2019年度の事業計画と2019年度の予算計画
3）役員改選（役員選挙候補者名簿の受付は2018年12月21日までに連合事務所に届け出ること）
4）その他

2018年11月30日　ブラジルゲートボール連合会長 本多八郎

Edital de Convocação

De acordo com o capítulo VIII, artigos 42° e 44°, do Estatuto Social da União dos Clubes de Gueitebol do Brasil (UCGB), são convocados todos os associados para a 36ª Assembleia Geral Ordinária que será realizada no dia 10 de janeiro de 2019, às 8:30 horas, em primeira convocação, ou às 9 horas, em segunda convocação, no salão de Miyagui-kenjinkai, sito à Rua Fagundes, n° 152, nesta capital, a fim de deliberarem sobre a seguinte Ordem do Dia:

1) Relatório das atividades e balanço patrimonial relativo ao exercício de 2018
2) Plano de atividades e proposta orçamentária para o exercício de 2019
3) Eleição da Diretoria executiva*
*As inscrições das chapas para concorrerem à eleição devem ser feitas no escritório da UCGB até o dia 21 de dezembro de 2018.
4) Outros assuntos de interesse da UCGB

São Paulo, 30 de novembro de 2018.
Hatiro Honda - Presidente da UCGB

死亡通知並びに法要のお知らせ

父 高橋泰信（六十六歳）儀
YASUNOBU TAKAHASHI

去る十一月二十七日に永眠致しました。生前ご厚誼を賜りました皆様方に、謹んでお知らせ致します。尚、葬儀を左記の通り執り行いますので、お知らせ致します。

二〇一八年十一月三十日

喪主 妻 高橋雅子
長男 ダニエル
次男 ダヴィ
長女 モニカ

【日時】十一月三十日（金）午後七時から十二月一日（土）午後四時まで
【場所】ビラ・マリアーナ墓地内ベローリオ
Rua Batista Caetano, 300 - Aclimação - São Paulo - SP

いろんな痛みと病気に 針灸 ACUPUNTURA
Dra. MONICA Y. MORISHITA
Biomédica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura
大学院で針灸学を専攻いたしました
電気鍼療法 もぐさ レーザー 磁石による治療
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95-M (Iwate-kenjinkai)
Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
contato: (11)99236-3956 "Recados no WhatsApp"
E-Mail: monicamorishita@yahoo.com.br

ALUGA-SE SALA COMERCIAL 貸事務所
Edificio Cond. Diário Nippak
sala 71 (próx. metrô Liberdade)
Contato（問い合わせ連絡先）
(11) 3208-3507 / 3209-4640

A VERDADE SOBRE A GUERRA DO PACÍFICO
太平洋戦争の真実をポルトガル語で
・真珠湾攻撃以前に為された対日軍事行動
・開戦前に承認されていた日本の市民への爆撃計画
・日本への経済封鎖という戦争行為
・アメリカ自身すら認める東京裁判の不当性 など
R$50
著者・目良浩一
ニッケイ新聞編集部・日系書店で販売中！
・太陽堂 (11)-3208-6588
・高野書店 (11)-3209-3313
・フォノマギ竹内書店 (11)-3104-3399

TUNIBRA TRAVEL
Consulte nossos SUPER descontos
Viagens para o Japão
Desde 1949
(11) 3346-8200 www.tunibra.com.br
Pça da Liberdade, 170 - Liberdade - São Paulo

VENDA em BANCA
Nikkey Shimbun
ニッケイ新聞

IKESAKI COSMÉTICOS
池崎商会
Variedade em Cosméticos e Perfumaria
Rua Galvão Bueno, 37 Liberdade
São Paulo - SP TEL: (11) 3346-6944
www.ikesaki.com.br

ANO XXI – Nº 5133　SÃO PAULO, SEXTA-FEIRA, 30 DE NOVEMBRO DE 2018　R$ 4,00

長友、1カ月ぶりに公式戦復帰

表情に安堵感にじむ
肺気胸乗り越えフル出場

欧州サッカー

【共同】試合に敗れ、16強入りの望みは断たれたが、ガラタサライの長友は肺気胸からの復帰を素直に喜んだ。2度の手術を経てピッチに立ち「こんなに早く戻れると思っていなかった。90分できたことは喜ばしい」と、表情には安堵感がにじんだ。

氷点下10度の極寒の中で行われた一戦。「初めての経験で、なかなか大変だった」と言う。チームはミスからカウンターを受けるなど、最下位の相手に2ゴールを許した。1試合を残しての敗退決定に「悔しいが、しっかり受け止めて次の試合に向けてやっていきたい」と前を向いた。

10月24日、欧州CLのシャルケ戦でボールが体に当たった衝撃で肺を痛め、息苦しさも感じて途中交代。試合後にチームドクターの指示で病院へ向かった。「あの判断がなければ、家に帰って死んでいたかもしれない」と切迫した状況を振り返ったこともあった。

11月は招集されなかった日本代表は、年明けに王座奪還を狙うアジア・カップに挑む。「コンディションを上げていくことを考えたい。後は監督が決めることで、まずは足元を見てやります」と代表での復帰も見据えた。

ロコモティフ・モスクワ戦の後半、攻め込むガラタサライの長友（左）＝モスクワ（共同）

長友復帰も敗退決定 欧州CL、ドルトなど突破

【モスクワ共同】サッカーの欧州チャンピオンズリーグ（CL）は28日、モスクワなどで1次リーグA―D組の第5節8試合が行われ、D組でガラタサライ（トルコ）の長友佑都が敵地のロコモティフ・モスクワ（ロシア）戦にフル出場し、肺気胸による離脱から約1カ月ぶりに公式戦復帰した。チームは0―2で敗れて勝ち点4のままで、決勝トーナメント進出の可能性が消えた。

A組のアトレチコ・マドリード（スペイン）とドルトムント（ドイツ）、D組のポルト（ポルトガル）シャルケ（ドイツ）が各組2位以内を確保して1次リーグ突破を決めた。ドルトムントの香川真司は0―0で引き分けたホームのクラブ・ブリュージュ（ベルギー）戦でベンチ外。C組ではパリ・サンジェルマン（フランス）が2―1でリバプール（イングランド）を破り、勝ち点8で2位に浮上した。昨季準優勝のリバプールは同6の3位に後退した。

羽生、GPファイナル欠場
足首負傷、全日本も厳しく

【共同】日本スケート連盟は29日、フィギュアスケート男子で冬季五輪2連覇の羽生結弦（23）＝ANA＝が右足首負傷のためグランプリ（GP）シリーズ上位6人によるGPファイナル（12月6～8日・バンクーバー）を欠場すると発表した。2013～16年に4連覇し、男女を通じ初の5度目の優勝が懸かっていた。

右足関節外側靱帯損傷、三角靱帯損傷、右腓骨筋腱部損傷と診断され、痛めた17日から3週間の安静と患部固定、その後約1カ月のリハビリ加療を要する見込み。世界選手権（来年3月・さいたま市）の代表最終選考会を兼ねる全日本選手権（12月21～24日・大阪）の出場も厳しい状況となった。2年前はインフルエンザ、昨年は右足首故障のために全日本選手権を欠場したが、日本連盟は実績を考慮して世界選手権や平昌五輪の代表に選出している。

羽生はGP第5戦、ロシア杯のフリー当日の練習中に4回転ループの着氷に失敗して右足首を負傷。痛み止めを服用し強行出場してGP2連勝を成し遂げた。昨年11月のNHK杯でも同じ箇所を痛め、今年2月の平昌五輪まで長期離脱を余儀なくされた。

長谷部が最優秀国際選手
AFCの年間表彰式

【共同】アジア・サッカー連盟（AFC）の年間表彰式が28日、オマーンのマスカットで行われ、ワールドカップ（W杯）ロシア大会で16強入りした日本代表の主将を務めた長谷部誠（アイントラハト・フランクフルト）が最優秀国際選手に選ばれた。

最優秀監督は男子がアジア・チャンピオンズリーグ（ACL）で初優勝したJ1鹿島の大岩剛監督、女子は日本代表の高倉麻子監督が2年続けて選出された。U―20（20歳以下）女子W杯で優勝した日本からは宝田沙織（C大阪堺）が最優秀ユース選手、池田太監督が特別賞を受賞した。

男子の最優秀選手はカタールのアブデルカリム・ハッサンで、候補だった鈴木優磨（鹿島）らは落選した。

阿部、5千万円減で更改
来季は捕手で勝負

契約更改を終え、記者会見に臨む巨人・阿部＝29日、東京都内の球団事務所（共同）

【共同】巨人の阿部慎之助内野手が29日、東京・大手町の球団事務所で契約更改交渉に臨み、5千万円減の年俸1億6千万円でサインした。

今季は代打での出場が増え、18年目でワーストの49安打に終わった。40歳で迎える来季は登録を捕手に戻す。「たくさんの選手が引退したのを見て、いつか自分も来ることになるんだろうなと。このまま終わったら悔いが残る」と集大成で臨む意気込みを口にした。

吉川尚輝内野手は1500万円増の2800万円で更改した。今季はけがで離脱するまで主に二塁で先発出場を続けたが「走攻守で課題だらけだった。全てで自信がないと、いいプレーはできない」と成長を期した。

田口麗斗投手はわずか2勝に終わり、1500万円減の7500万円でサイン。来季は背番号が90から28に変わる。山本泰寛内野手は50万円増の1850万円で更改した。（金額は推定）

Jリーグ

残留争いは5クラブ
札幌もACLに望みかける

【共同】川崎が2連覇し、柏と長崎のJ2自動降格が決まったJ1が最終節を迎える。関心は、どのクラブが16位となって、入れ替え戦に相当するJ1参入プレーオフ決定戦に回るのか。勝ち点41の横浜M、磐田、同40の湘南、鳥栖、名古屋は、まだ降格の可能性が消えていない。鍵を握るのは名古屋―湘南の直接対決だ。

当該の5クラブは、いずれも勝てば自力でJ1残留を決められる。一方で名古屋と湘南が引き分けた場合は、5クラブが勝ち点41で並ぶこともありうる。得失点差により、湘南は引き分けても残留が決まるが、磐田は川崎、鳥栖は鹿島の上位陣とのアウェー戦で勝ち点を奪わない限り、名古屋を下回る。横浜MはC大阪に大敗しない限りは残留できる優位な状況だ。

アジア・チャンピオンズリーグ（ACL）出場権を懸けた3位以内を巡る争いは、4位の札幌まで望みがあり、札幌は2位広島とのホーム戦に勝てばACL初出場が決まる。長い間首位を快走しながら6連敗を含む8戦未勝利と大失速した広島は4位転落の可能性もあり、最後に意地を示せるか。

今季のACLを制した鹿島は、勝ち点を上積みできれば3位以上が堅い。

得点王争いは22得点のジョー（名古屋）か20得点のパトリック（広島）にほぼ絞られた。参入プレーオフ2回戦はJ2で3位の横浜FCがホームで同6位の東京Vと対戦し、決定戦のカードが決まる。

清宮「実力分かった一年」
初更改は300万円増

【共同】日本ハムの清宮幸太郎内野手が29日、札幌市内の球団事務所で契約更改交渉に臨み、300万円増の年俸1800万円でサインした。

東京・早実高から入団した1年目の今季は53試合に出場して7本塁打。「やっていけるなというところと、まだまだなと思うところがあった。実力が分かった一年」と振り返った。

初めて経験する契約更改交渉は緊張しなかったが、独特な雰囲気を感じたという。「すごく大事な場所で、自分の生活も懸かる場面。すごく大事な節目の時間」と引き締まった表情で話した。

契約更改後の記者会見でポーズをとる日本ハムの清宮＝29日、札幌市の球団事務所（共同）

今後は千葉県鎌ケ谷市の2軍施設で2年目に向けて準備を進める。思い切りの良いスイングは持ち味だが、160打数で60三振は大きな課題だ。「自分の（良い）状態をいかに保つかが大事。リーグ優勝、日本一に貢献できるようにしたい」と意気込んだ。（金額は推定）

今平「賞金王を取りたい」
男子ゴルフ最終戦へ調整

【共同】男子ゴルフの今季最終戦、日本シリーズJTカップは29日に東京よみうりCCで開幕する。28日は出場選手が最終調整し、賞金ランキング1位で初のタイトル獲得へ優位に立つ26歳の今平周吾は「賞金王を取りたい。最後に1勝できたら」と意気込んだ。

逆転の可能性を残すのは約3340万円差で賞金2位のショーン・ノリス（南アフリカ）のみ。今大会の優勝賞金は4千万円で、ノリスが優勝しても今平は3位（3人まで）に入れば自力で決めることができる。ノリスは2位以下が許されない厳しい条件だが「ここ数日はショットもパットも感触がいい。自信はある」と闘志を燃やす。

昨年大会を制した宮里優作もショットの感触などを確認したが「全体的に調子が悪い。なかなかうまくいかない」と不安を口にした。

今大会は今季ツアー優勝者や賞金ランキング上位選手など30人が4日間、予選落ちなしで争う。

カズ「成し遂げたい」
J1参入PO2回戦

J1参入プレーオフに向け意気込みを語るJ2横浜FCの三浦知良＝29日午後、横浜市（共同）

【共同】J2横浜FCのFW三浦知良が29日、東京VとのJ1参入プレーオフ2回戦（12月2日・ニッパツ三ツ沢球技場）へ向け「J1のチャンスが巡ってきたのだから、全員の力で成し遂げたい。ヴェルディ戦に集中するだけ」と、12季ぶりのJ1復帰へ意気込みを語った。

来年2月に52歳の誕生日を迎える三浦は横浜市内での練習後、テレビカメラに囲まれ「J1の舞台に自分が再び立てるなら、50歳を過ぎて、また違った喜びがあるんじゃないかと楽しみはある。だけど、まだ乗り越えなきゃいけない壁がある」と話した。2回戦を突破すると、1日のJ1最終節に決まるJ1の16位チームとの決定戦に臨む。

日本は50位で変わらず
FIFAランキング

【共同】国際サッカー連盟（FIFA）は29日、最新の世界ランキングを発表し、日本は前回と変わらず50位だった。

アジア勢はイランが29位、オーストラリアは41位とそれぞれ一つ上げた。韓国は53位で変わらなかった。

1位、2位、3位、4位、5位イングランドと上位に変動はなかった。

桃田らが順当に2回戦へ
全日本総合バド第2日

【共同】バドミントンの全日本総合選手権第2日は28日、東京・駒沢体育館で各種目の1回戦が行われ、男子シングルスは桃田賢斗（NTT東日本）や西本拳太（トナミ運輸）が2回戦へ、同ダブルスは園田啓悟、嘉村健士組（トナミ運輸）らが勝った。女子シングルスは山口茜（再春館製薬所）や奥原希望（日本ユニシス）が順当に勝利。ダブルスは福島由紀、広田彩花組（岐阜トリッキーパンダース）、永原和可那、松本麻佑組（北都銀行）、高橋礼華、松友美佐紀組（日本ユニシス）が勝った。

タカマツがロンドン銀下す
全日本総合バド第3日

【共同】バドミントンの全日本総合選手権第3日は29日、東京・駒沢体育館で各種目の2回戦が行われ、女子ダブルスは高橋礼華、松友美佐紀組（日本ユニシス）が準々決勝に進んだ。

永原和可那、松本麻佑組（北都銀行）や福島由紀、広田彩花組（岐阜トリッキーパンダース）も8強入りした。シングルス男子は桃田賢斗（NTT東日本）は勝った。女子では山口茜（再春館製薬所）や奥原希望（日本ユニシス）は8強に進んだ。

JORNAL ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN
EDITORA JORNALÍSTICA UNIÃO NIKKEI LTDA.
Rua da Glória,332-Liberdade
CEP 01510-000-São Paulo-SP
Telefone: (11) 3340-6060
Fax: (11) 3341-6476
Site: www.nikkeyshimbun.jp
Facebook:www.facebook.com/nikkey.shimbun
Diretor Presidente:Raul M.Takaki
Jornalista Responsável:
Takao Miyagui-MT 15.167-SP
Redator:Masayuki Fukasawa
記事に関するご意見 Redação:
redacao@nikkeyshimbun.jp
配達・購読契約に関する連絡 Assinatura:
nikkeyshimbun@yahoo.com.br
広告に関する連絡・問い合わせ Publicidade:
anuncio@nikkeyshimbun.jp
Periodicidade:Terça-feira à Sábado
Preço Assinatura:
R$ 790,00(Anual) / R$ 420,00(Semestral)
Assinatura Digital(PDF):
R$ 330,00(Anual) / R$ 170,00(Semestral)